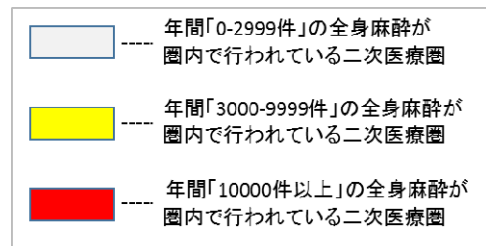
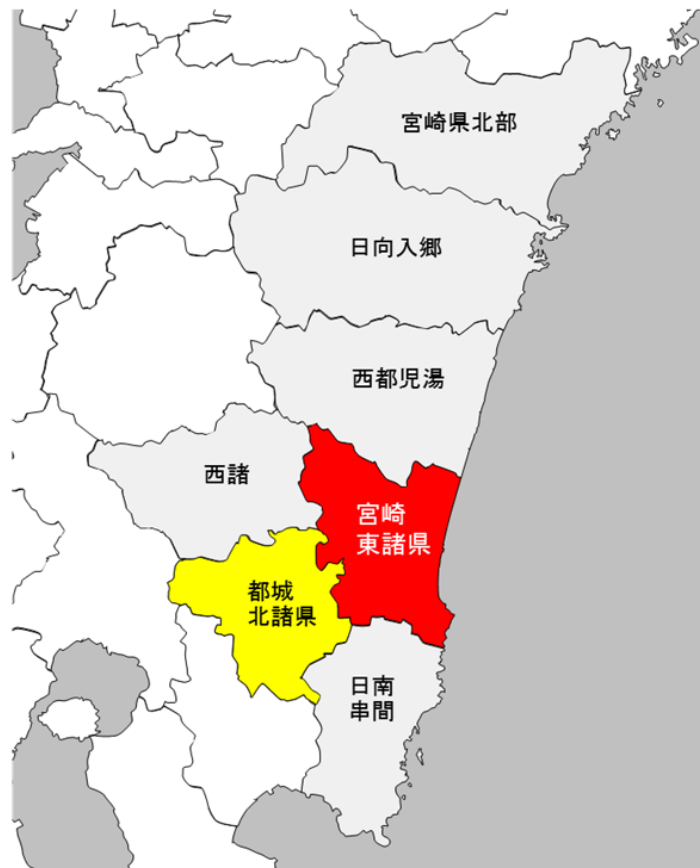


# 45. 宮崎県



目次

宮崎県 .....	45	-	3
1. 宮崎東諸県医療圏 .....	45	-	9
2. 都城北諸県医療圏 .....	45	-	15
3. 延岡西臼杵医療圏 .....	45	-	21
4. 日南串間医療圏 .....	45	-	27
5. 西諸医療圏 .....	45	-	33
6. 西都児湯医療圏 .....	45	-	39
7. 日向入郷医療圏 .....	45	-	45

## 宮崎県

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は71,750人(-6%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は513人(24%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は237人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

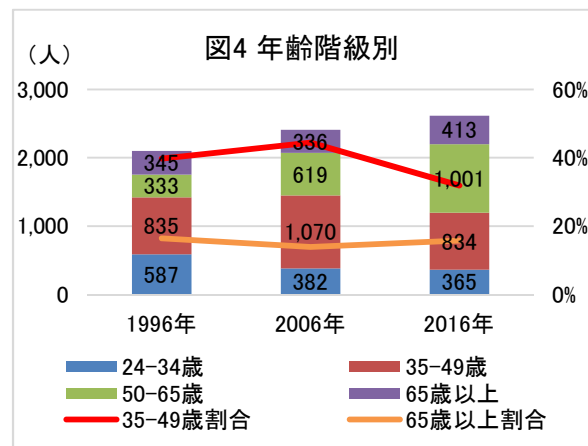
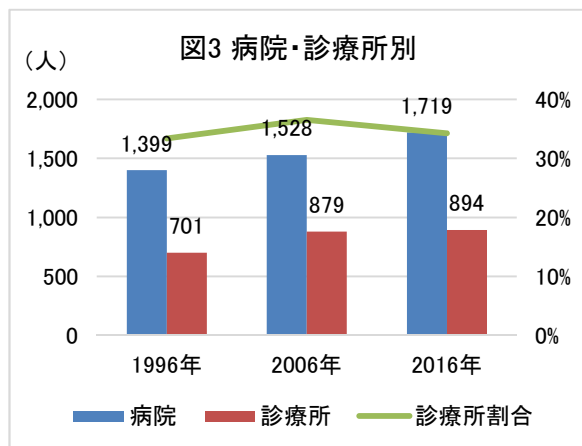
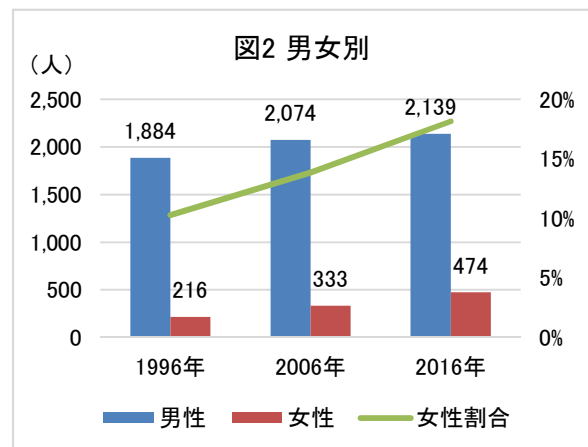
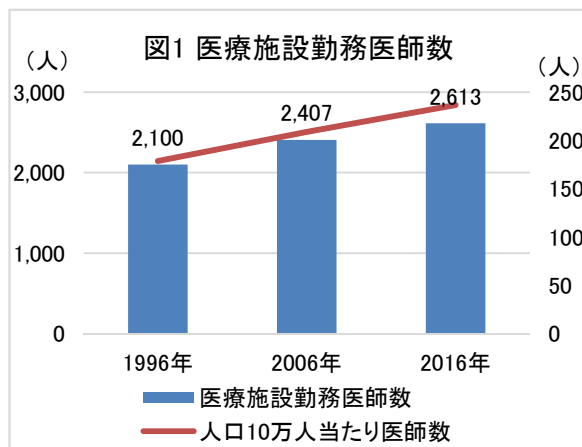
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて255人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に258人(119%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて320人(23%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に193人(28%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は1人(0%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて68人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年16%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 宮崎県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,175,819	1,153,042	1,104,069	-71,750	-6%	-22,777	-2%	-48,973	-4%	
総医師数	2,194	2,557	2,754	560	26%	363	17%	197	8%	
人口10万対	186.6	221.8	249.4	62.8	34%	35.2	19%	27.7	12%	
医療施設勤務医師数	2,100	2,407	2,613	513	24%	307	15%	206	9%	
人口10万対	178.6	208.8	236.7	58.1	33%	30.2	17%	27.9	13%	
男性医師数	1,884	2,074	2,139	255	14%	190	10%	65	3%	
人口10万対	160.2	179.9	193.7	33.5	21%	19.6	12%	13.9	8%	
女性医師数	216	333	474	258	119%	117	54%	141	42%	
人口10万対	18.4	28.9	42.9	24.6	134%	10.5	57%	14.1	49%	
病院勤務医師数	1,399	1,528	1,719	320	23%	129	9%	191	13%	
人口10万対	119.0	132.5	155.7	36.7	31%	13.5	11%	23.2	17%	
診療所勤務医師数	701	879	894	193	28%	178	25%	15	2%	
人口10万対	59.6	76.2	81.0	21.4	36%	16.6	28%	4.7	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	46.1	48.8	51.6	5.5	12%	2.7	6%	2.8	6%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	587	382	365	-222	-38%	-205	-35%	-17	-4%
	35-49歳	835	1,070	834	-1	0%	235	28%	-236	-22%
	50-64歳	333	619	1,001	668	201%	286	86%	382	62%
	65歳以上	345	336	413	68	20%	-9	-3%	77	23%
	75歳以上(再掲)	92	165	145	53	58%	73	79%	-20	-12%
男性	24-34歳	467	261	227	-240	-51%	-206	-44%	-34	-13%
	35-49歳	775	909	632	-143	-18%	134	17%	-277	-30%
	50-64歳	313	586	890	577	184%	273	87%	304	52%
	65歳以上	329	318	390	61	19%	-11	-3%	72	23%
	75歳以上(再掲)	86	156	132	46	53%	70	81%	-24	-15%
女性	24-34歳	120	121	138	18	15%	1	1%	17	14%
	35-49歳	60	161	202	142	237%	101	168%	41	25%
	50-64歳	20	33	111	91	455%	13	65%	78	236%
	65歳以上	16	18	23	7	44%	2	13%	5	28%
	75歳以上(再掲)	6	9	13	7	117%	3	50%	4	44%
病院	24-34歳	565	361	349	-216	-38%	-204	-36%	-12	-3%
	35-49歳	578	772	656	78	13%	194	34%	-116	-15%
	50-64歳	136	269	546	410	301%	133	98%	277	103%
	65歳以上	120	126	168	48	40%	6	5%	42	33%
	75歳以上(再掲)	42	69	64	22	52%	27	64%	-5	-7%
診療所	24-34歳	22	21	16	-6	-27%	-1	-5%	-5	-24%
	35-49歳	257	298	178	-79	-31%	41	16%	-120	-40%
	50-64歳	197	350	455	258	131%	153	78%	105	30%
	65歳以上	225	210	245	20	9%	-15	-7%	35	17%
	75歳以上(再掲)	50	96	81	31	62%	46	92%	-15	-16%
	85歳以上(再掲)	8	12	20	12	150%	4	50%	8	67%

## 宮崎県

## ＜医師数の推移＞

宮崎県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、外科(総数)、整形外科であり、少ない診療科は、小児外科、形成外科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	2,100	178.6	49	2,407	208.8	50	2,613	236.7	50	513	24%	58.1	33%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	798	67.9	48	876	76.0	49	934	84.6	48	136	17%	16.7	25%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	105	8.9	45	121	10.5	48	130	11.8	47	25	24%	2.8	32%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	113	9.6	54	169	14.7	61	191	17.3	59	78	69%	7.7	80%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	281	23.9	53	264	22.9	57	258	23.4	56	-23	-8%	-0.5	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	2	0.2	44	3	0.3	45	3		0.3	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	9	0.8	44	19	1.6	48	21	1.9	47	12	133%	1.1	148%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	47	4.0	48	56	4.9	50	66	6.0	51	19	40%	2.0	50%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	172	14.6	53	216	18.7	58	229	20.7	58	57	33%	6.1	42%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.3	43	9	0.8	45	13	1.2	44	10	333%	0.9	361%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	65	5.5	50	58	5.0	47	69	6.2	47	4	6%	0.7	13%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	105	8.9	50	110	9.5	50	116	10.5	50	11	10%	1.6	18%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	65	5.5	46	66	5.7	46	69	6.2	47	4	6%	0.7	13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	61	5.2	55	69	6.0	55	66	6.0	52	5	8%	0.8	15%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	123	10.5	51	124	10.8	54	112	10.1	50	-11	-9%	-0.3	-3%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	4	0.3	45	12	1.0	47	21	1.9	50	17	425%	1.6	459%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	72	6.1	59	75	6.5	59	74	6.7	54	2	3%	0.6	9%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	51	4.3	51	67	5.8	53	81	7.3	50	30	59%	3.0	69%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				8	0.7	45	25	2.3	49	17	213%	1.6	226%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				65	5.6	43	88	8.0	44	88	35%	2.3	41%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	26	2.2	45	21	1.8	43	47	4.3	45	21	81%	2.0	93%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 宮崎県

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は156,790人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は156人(6%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は292人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

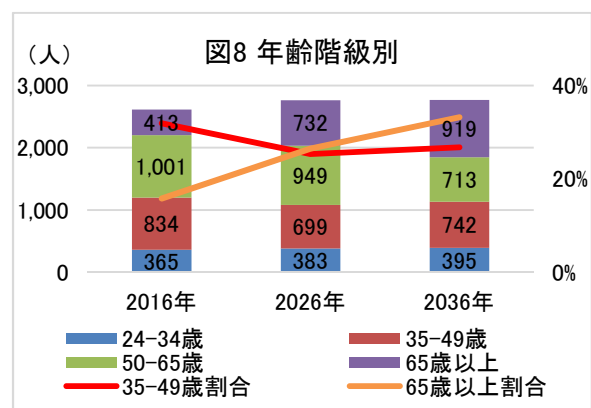
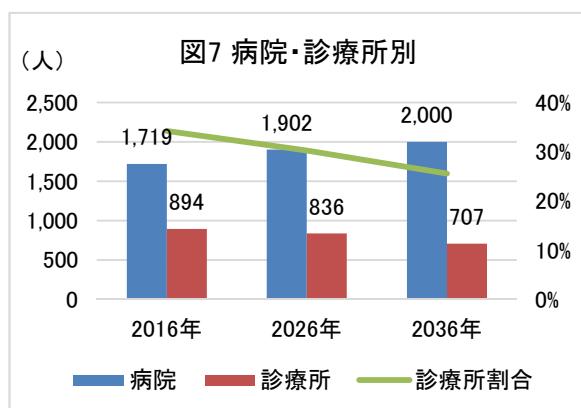
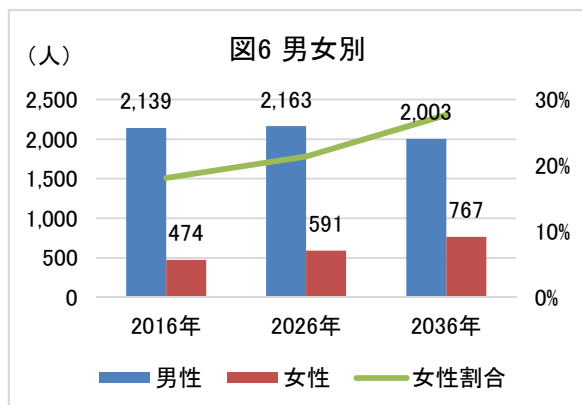
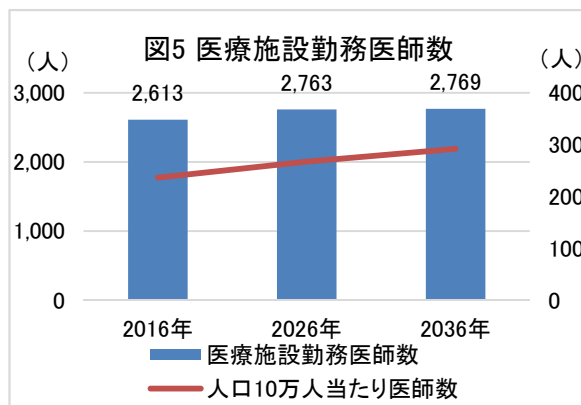
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて136人(-6%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に293人(62%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は28%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて281人(16%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に187人(-21%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は92人(-11%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて506人(123%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年16%、2036年33%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



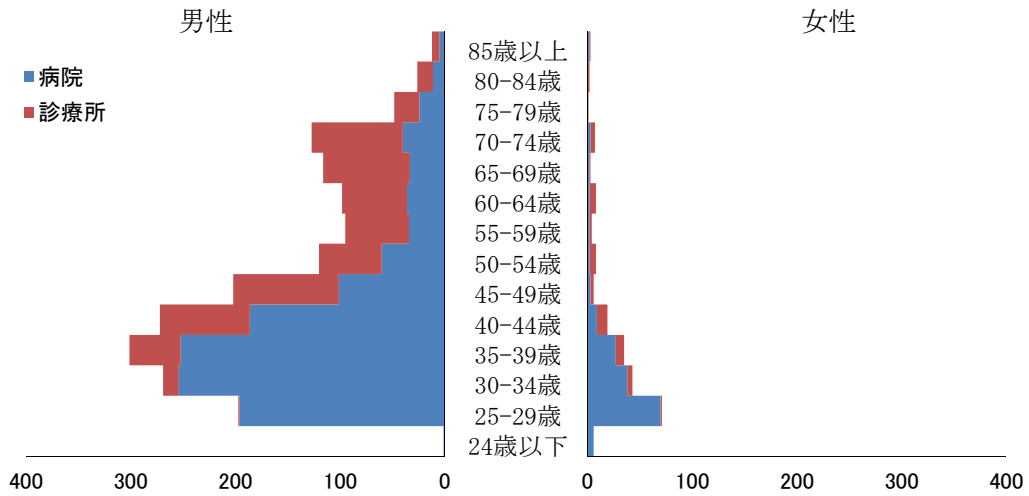
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

# 宮崎県

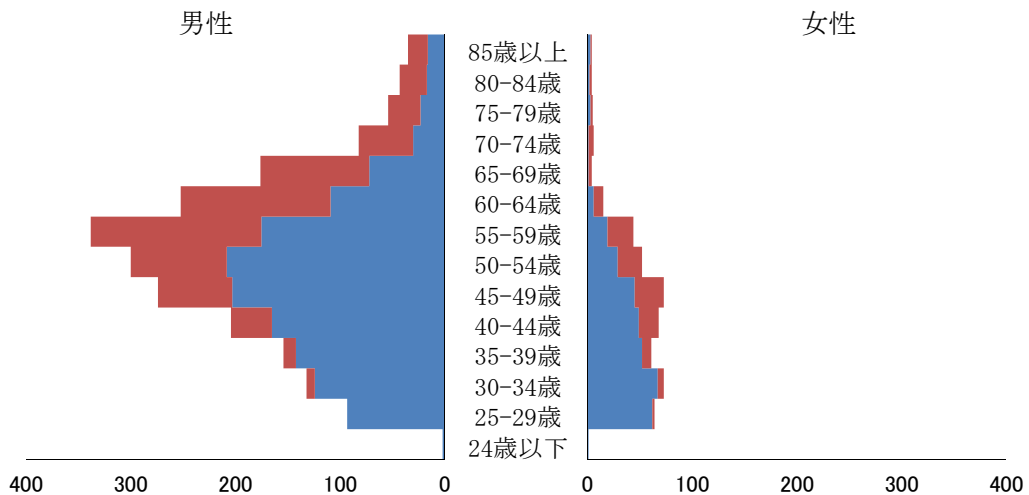
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

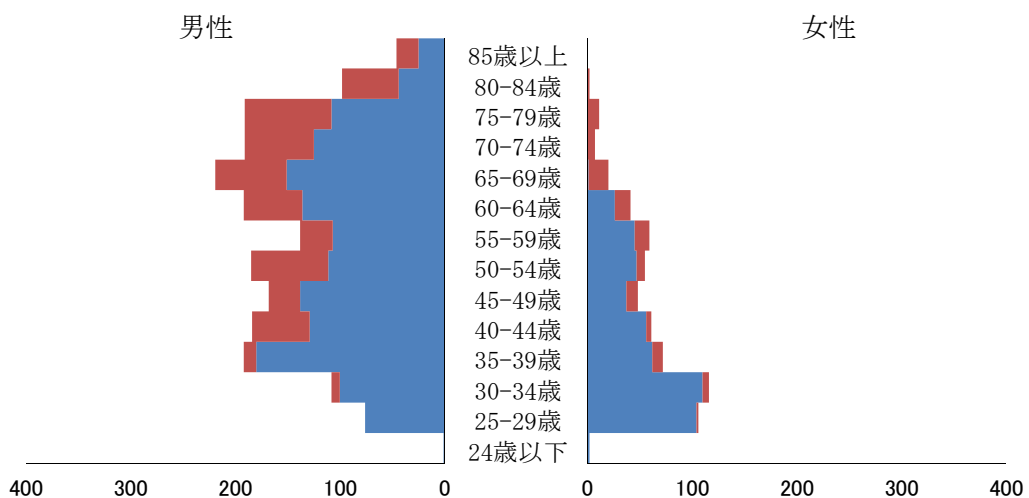
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去（2006年から2016年まで）のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。（ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した）

## 宮崎県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	1,104,069	1,033,671	947,279	-156,790	-14%	-70,398	-6%	-86,392	-8%	
医療施設勤務医師数	2,613	2,763	2,769	156	6%	150	6%	6	0%	
人口10万対	236.7	267.3	292.3	55.6	24%	30.6	13%	25.0	9%	
男性医師数	2,139	2,163	2,003	-136	-6%	24	1%	-160	-7%	
人口10万対	193.7	209.3	211.4	17.7	9%	15.5	8%	2.2	1%	
女性医師数	474	591	767	293	62%	117	25%	176	30%	
人口10万対	42.9	57.2	81.0	38.0	89%	14.2	33%	23.8	42%	
病院勤務医師数	1,719	1,902	2,000	281	16%	183	11%	98	5%	
人口10万対	155.7	184.0	211.1	55.4	36%	28.3	18%	27.1	15%	
診療所勤務医師数	894	836	707	-187	-21%	-58	-6%	-129	-15%	
人口10万対	81.0	80.9	74.6	-6.3	-8%	-0.1	0%	-6.2	-8%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	365	383	395	30	8%	18	5%	12	3%
	35-49歳	834	699	742	-92	-11%	-135	-16%	43	6%
	50-64歳	1,001	949	713	-288	-29%	-52	-5%	-236	-25%
	65歳以上	413	732	919	506	123%	319	77%	187	26%
	75歳以上(再掲)	145	212	392	247	170%	67	46%	180	85%
男性	24-34歳	227	238	184	-43	-19%	11	5%	-54	-23%
	35-49歳	632	497	542	-90	-14%	-135	-21%	45	9%
	50-64歳	890	763	508	-382	-43%	-127	-14%	-255	-33%
	65歳以上	390	665	769	379	97%	275	71%	104	16%
	75歳以上(再掲)	132	195	341	209	158%	63	48%	146	75%
女性	24-34歳	138	145	226	88	64%	7	5%	81	56%
	35-49歳	202	199	201	-1	0%	-3	-1%	2	1%
	50-64歳	111	191	194	83	75%	80	72%	3	2%
	65歳以上	23	56	146	123	535%	33	143%	90	161%
	75歳以上(再掲)	13	21	72	59	454%	8	62%	51	243%
病院	24-34歳	349	366	377	28	8%	17	5%	11	3%
	35-49歳	656	564	598	-58	-9%	-92	-14%	34	6%
	50-64歳	546	640	488	-58	-11%	94	17%	-152	-24%
	65歳以上	168	332	537	369	220%	164	98%	205	62%
	75歳以上(再掲)	64	101	215	151	236%	37	58%	114	113%
診療所	24-34歳	16	16	16	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	178	125	127	-51	-29%	-53	-30%	2	2%
	50-64歳	455	302	207	-248	-55%	-153	-34%	-95	-31%
	65歳以上	245	393	357	112	46%	148	60%	-36	-9%
	75歳以上(再掲)	81	103	178	97	120%	22	27%	75	73%
	85歳以上(再掲)	20	17	22	2	10%	-3	-15%	5	29%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)



## 宮崎東諸県医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は14,149人(3%)増加した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は402人(38%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は338人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は34%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

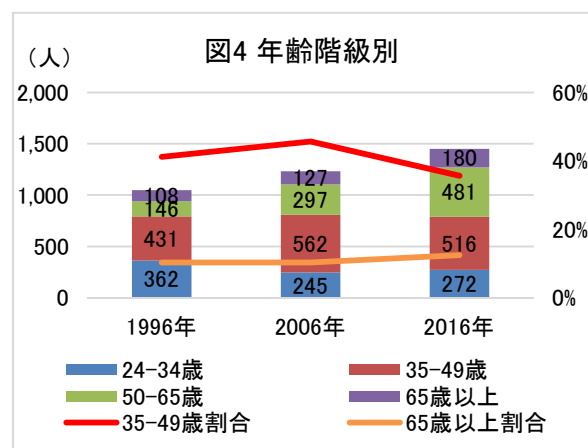
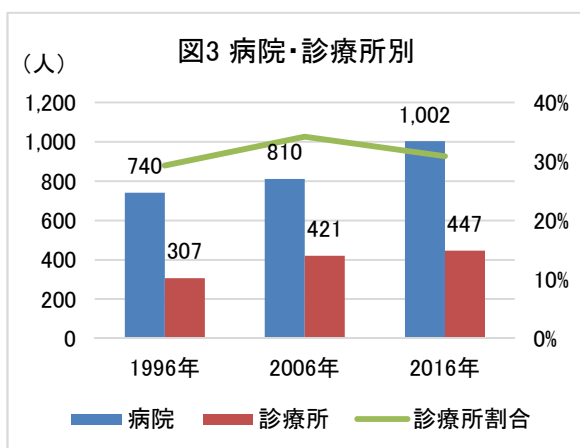
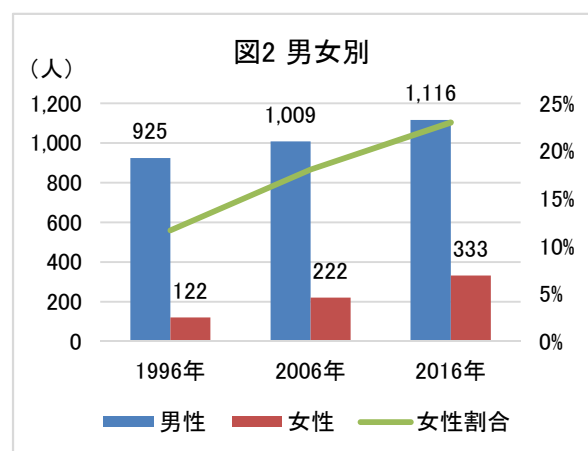
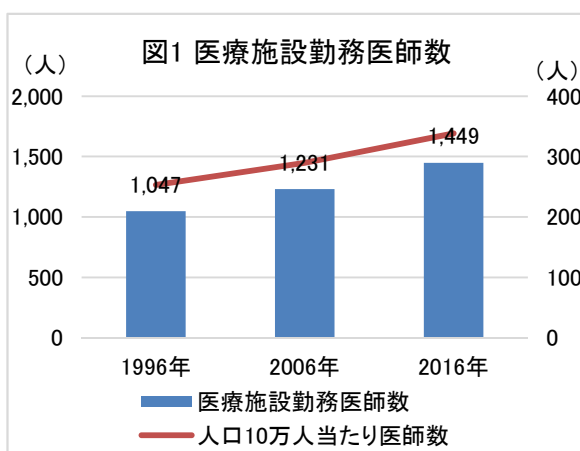
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて191人(21%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に211人(173%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は23%と、全国平均(21%)を上回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて262人(35%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に140人(46%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は31%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は85人(20%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて72人(67%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年10%、2016年12%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 宮崎東諸県医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	413,940	424,763	428,089	14,149	3%	10,823	3%	3,326	1%	
総医師数	1,110	1,338	1,539	429	39%	228	21%	201	15%	
人口10万対	268.2	315.0	359.5	91.3	34%	46.8	17%	44.5	14%	
医療施設勤務医師数	1,047	1,231	1,449	402	38%	184	18%	218	18%	
人口10万対	252.9	289.8	338.5	85.5	34%	36.9	15%	48.7	17%	
男性医師数	925	1,009	1,116	191	21%	84	9%	107	11%	
人口10万対	223.5	237.5	260.7	37.2	17%	14.1	6%	23.1	10%	
女性医師数	122	222	333	211	173%	100	82%	111	50%	
人口10万対	29.5	52.3	77.8	48.3	164%	22.8	77%	25.5	49%	
病院勤務医師数	740	810	1,002	262	35%	70	9%	192	24%	
人口10万対	178.8	190.7	234.1	55.3	31%	11.9	7%	43.4	23%	
診療所勤務医師数	307	421	447	140	46%	114	37%	26	6%	
人口10万対	74.2	99.1	104.4	30.3	41%	24.9	34%	5.3	5%	
医療施設勤務医 平均年齢	43.0	46.5	49.1	6.1	14%	3.6	8%	2.5	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	362	245	272	-90	-25%	-117	-32%	27	11%
	35-49歳	431	562	516	85	20%	131	30%	-46	-8%
	50-64歳	146	297	481	335	229%	151	103%	184	62%
	65歳以上	108	127	180	72	67%	19	18%	53	42%
	75歳以上(再掲)	25	51	64	39	156%	26	104%	13	25%
男性	24-34歳	287	144	159	-128	-45%	-143	-50%	15	10%
	35-49歳	396	470	373	-23	-6%	74	19%	-97	-21%
	50-64歳	137	276	416	279	204%	139	101%	140	51%
	65歳以上	105	119	168	63	60%	14	13%	49	41%
	75歳以上(再掲)	24	48	57	33	138%	24	100%	9	19%
女性	24-34歳	75	101	113	38	51%	26	35%	12	12%
	35-49歳	35	92	143	108	309%	57	163%	51	55%
	50-64歳	9	21	65	56	622%	12	133%	44	210%
	65歳以上	3	8	12	9	300%	5	167%	4	50%
	75歳以上(再掲)	1	3	7	6	600%	2	200%	4	133%
病院	24-34歳	351	237	264	-87	-25%	-114	-32%	27	11%
	35-49歳	302	425	415	113	37%	123	41%	-10	-2%
	50-64歳	60	116	263	203	338%	56	93%	147	127%
	65歳以上	27	32	60	33	122%	5	19%	28	88%
	75歳以上(再掲)	8	16	26	18	225%	8	100%	10	63%
診療所	24-34歳	11	8	8	-3	-27%	-3	-27%	0	0%
	35-49歳	129	137	101	-28	-22%	8	6%	-36	-26%
	50-64歳	86	181	218	132	153%	95	110%	37	20%
	65歳以上	81	95	120	39	48%	14	17%	25	26%
	75歳以上(再掲)	17	35	38	21	124%	18	106%	3	9%
	85歳以上(再掲)	1	5	6	5	500%	4	400%	1	20%

## 宮崎東諸県医療圏

## ＜医師数の推移＞

宮崎東諸県医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、精神科、外科(総数)、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科であり、少ない診療科はない。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,047	252.9	59	1,231	289.8	60	1,449	338.5	61	402	38%	85.5	34%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	372	89.9	54	418	98.4	57	513	119.8	60	141	38%	30.0	33%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	49	11.8	52	59	13.9	55	68	15.9	55	19	39%	4.0	34%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	49	11.8	59	58	13.7	59	83	19.4	63	34	69%	7.6	64%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	144	34.8	65	127	29.9	67	129	30.1	65	-15	-10%	-4.7	-13%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	2	0.5	49	2	0.5	48	2		0.5	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	8	1.9	52	13	3.1	56	13	3.0	53	5	63%	1.1	57%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	28	6.8	59	27	6.4	56	30	7.0	55	2	7%	0.2	4%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	81	19.6	63	106	25.0	71	117	27.3	70	36	44%	7.8	40%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	2	0.5	45	8	1.9	53	9	2.1	50	7	350%	1.6	335%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	35	8.5	59	36	8.5	57	44	10.3	59	9	26%	1.8	22%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	54	13.0	59	53	12.5	57	61	14.2	60	7	13%	1.2	9%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	37	8.9	55	41	9.7	58	43	10.0	59	6	16%	1.1	12%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	31	7.5	65	33	7.8	63	31	7.2	57	0	0%	-0.2	-3%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	59	14.3	60	67	15.8	67	65	15.2	60	6	10%	0.9	7%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	0.5	47	7	1.6	52	12	2.8	55	10	500%	2.3	480%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	46	11.1	75	48	11.3	75	54	12.6	70	8	17%	1.5	14%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	33	8.0	62	46	10.8	68	53	12.4	62	20	61%	4.4	55%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				6	1.4	51	19	4.4	59	13	217%	3.0	214%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				60	14.1	53	67	15.7	53	67	12%	1.5	11%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	17	4.1	49	16	3.8	47	36	8.4	52	19	112%	4.3	105%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 宮崎東諸県医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は38,046人(-9%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は295人(20%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は447人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

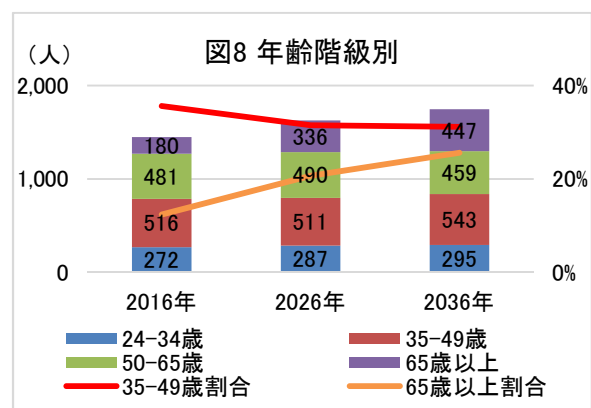
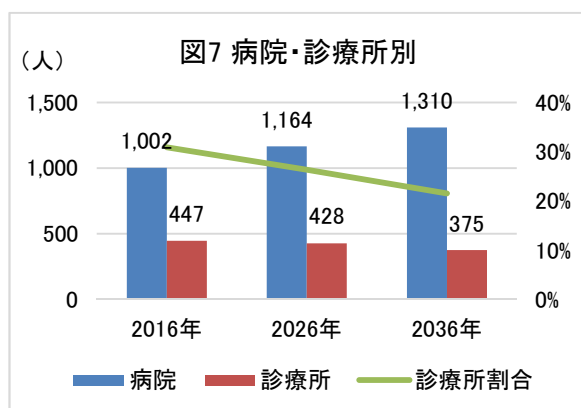
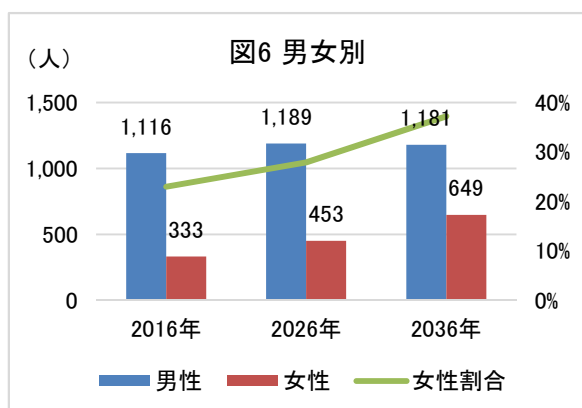
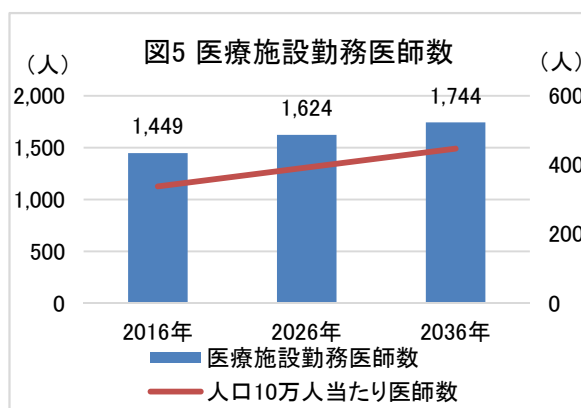
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて65人(6%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に316人(95%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は37%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて308人(31%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に72人(-16%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は22%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は27人(5%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて267人(148%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年12%、2036年26%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



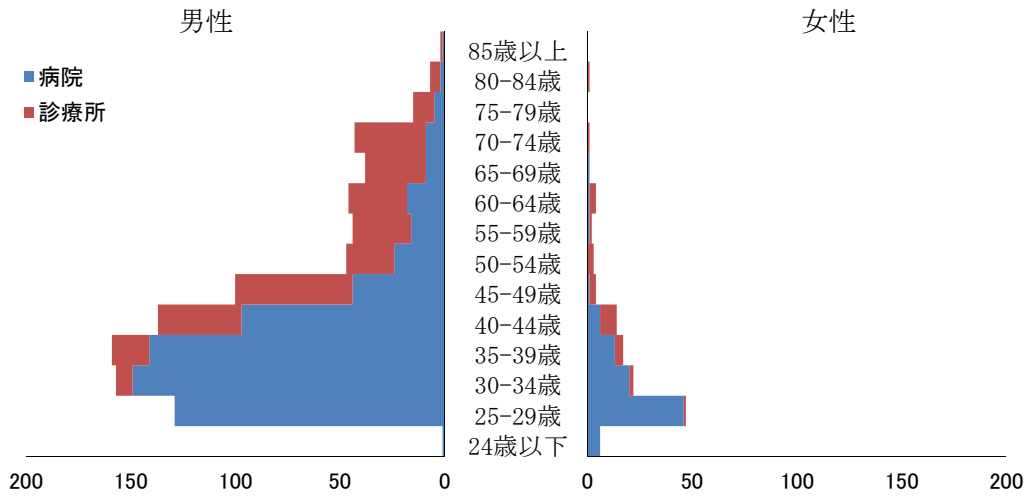
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 宮崎東諸県医療圏

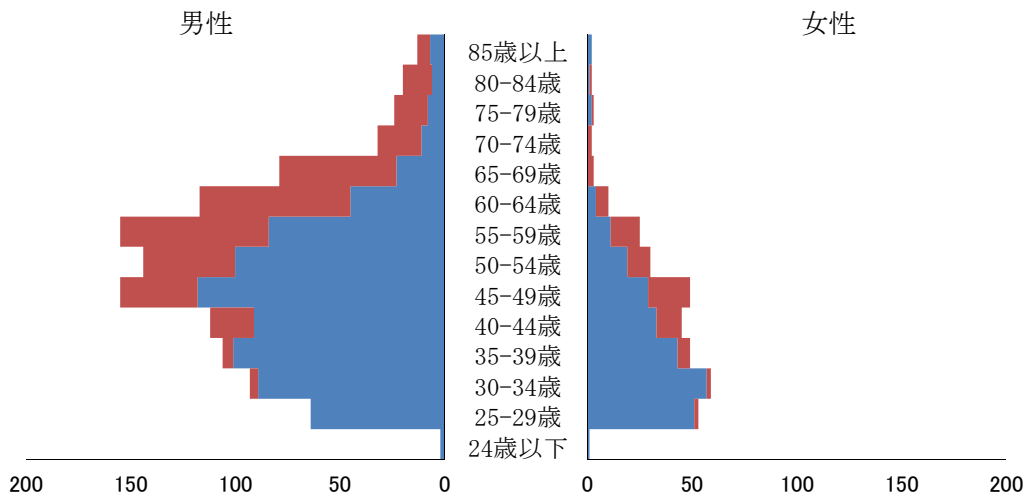
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

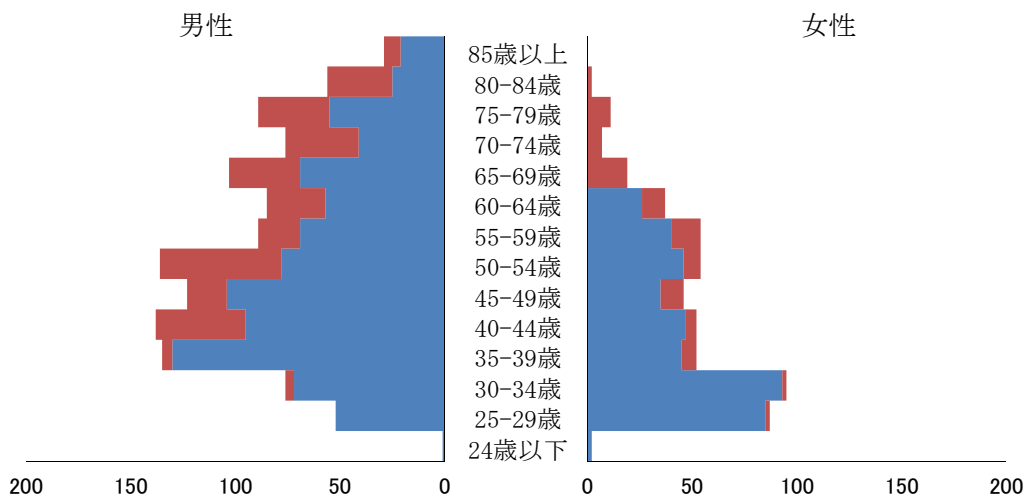
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 宮崎東諸県医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	428,089	413,459	390,043	-38,046	-9%	-14,630	-3%	-23,416	-6%	
医療施設勤務医師数	1,449	1,624	1,744	295	20%	175	12%	120	7%	
人口10万対	338.5	392.8	447.1	108.6	32%	54.3	16%	54.3	14%	
男性医師数	1,116	1,189	1,181	65	6%	73	7%	-8	-1%	
人口10万対	260.7	287.6	302.8	42.1	16%	26.9	10%	15.2	5%	
女性医師数	333	453	649	316	95%	120	36%	196	43%	
人口10万対	77.8	109.6	166.4	88.6	114%	31.8	41%	56.8	52%	
病院勤務医師数	1,002	1,164	1,310	308	31%	162	16%	146	13%	
人口10万対	234.1	281.5	335.9	101.8	43%	47.5	20%	54.3	19%	
診療所勤務医師数	447	428	375	-72	-16%	-19	-4%	-53	-12%	
人口10万対	104.4	103.5	96.1	-8.3	-8%	-0.9	-1%	-7.4	-7%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	272	287	295	23	8%	15	6%	8	3%
	35-49歳	516	511	543	27	5%	-5	-1%	32	6%
	50-64歳	481	490	459	-22	-5%	9	2%	-31	-6%
	65歳以上	180	336	447	267	148%	156	87%	111	33%
	75歳以上(再掲)	64	96	185	121	189%	32	50%	89	93%
男性	24-34歳	159	167	128	-31	-19%	8	5%	-39	-23%
	35-49歳	373	356	390	17	5%	-17	-5%	34	10%
	50-64歳	416	371	306	-110	-26%	-45	-11%	-65	-18%
	65歳以上	168	295	357	189	113%	127	76%	62	21%
	75歳以上(再掲)	57	84	154	97	170%	27	47%	70	83%
女性	24-34歳	113	120	185	72	64%	7	6%	65	54%
	35-49歳	143	159	163	20	14%	16	11%	4	3%
	50-64歳	65	130	166	101	155%	65	100%	36	28%
	65歳以上	12	44	135	123	1025%	32	267%	91	207%
	75歳以上(再掲)	7	15	71	64	914%	8	114%	56	373%
病院	24-34歳	264	278	286	22	8%	14	5%	8	3%
	35-49歳	415	421	448	33	8%	6	1%	27	6%
	50-64歳	263	316	304	41	16%	53	20%	-12	-4%
	65歳以上	60	149	272	212	353%	89	148%	123	83%
	75歳以上(再掲)	26	52	134	108	415%	26	100%	82	158%
診療所	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	101	69	71	-30	-30%	-32	-32%	2	3%
	50-64歳	218	160	116	-102	-47%	-58	-27%	-44	-28%
	65歳以上	120	191	180	60	50%	71	59%	-11	-6%
	75歳以上(再掲)	38	52	83	45	118%	14	37%	31	60%
	85歳以上(再掲)	6	7	9	3	50%	1	17%	2	29%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 都城北諸県医療圏

### ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は6,562人(-3%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は62人(21%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は187人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は25%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

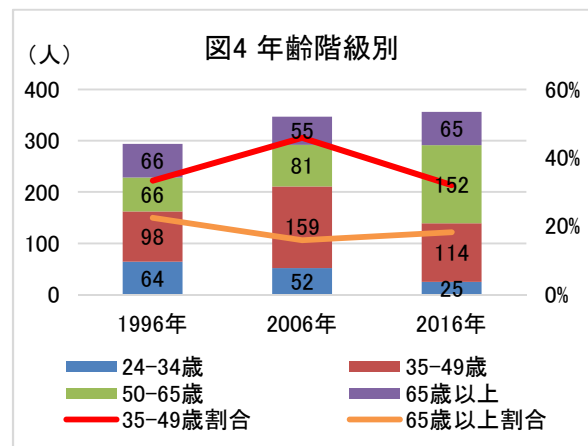
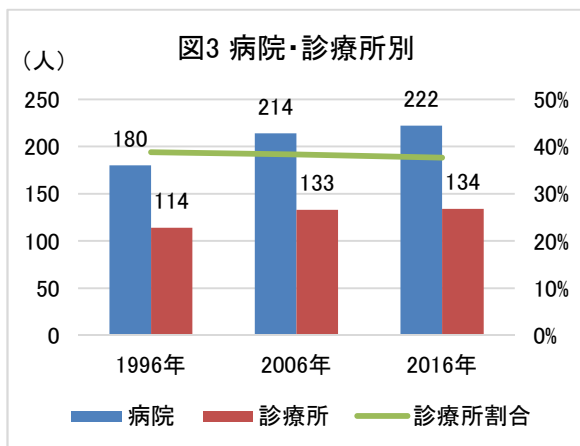
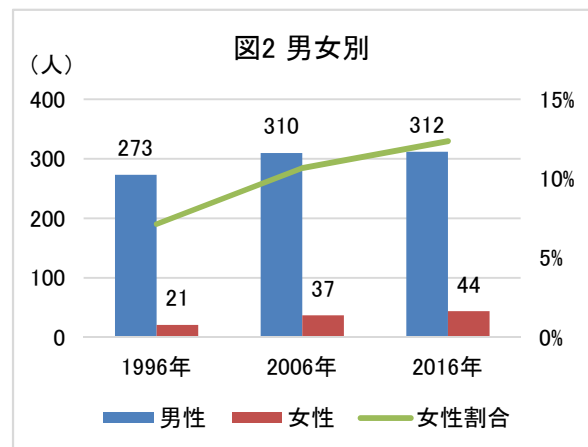
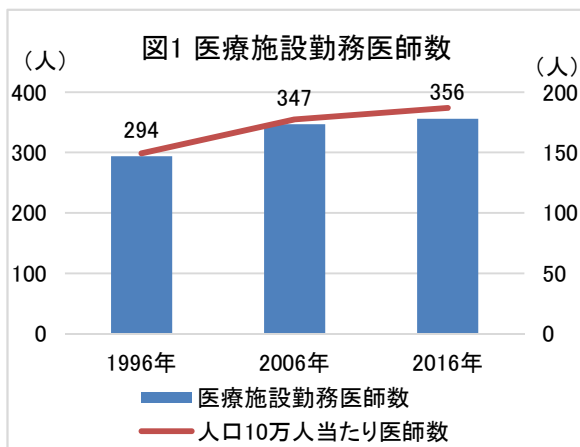
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて39人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に23人(110%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて42人(23%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に20人(18%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は16人(16%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(-2%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 都城北諸県医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	196,995	195,500	190,433	-6,562	-3%	-1,495	-1%	-5,067	-3%	
総医師数	295	357	368	73	25%	62	21%	11	3%	
人口10万対	149.7	182.6	193.2	43.5	29%	32.9	22%	10.6	6%	
医療施設勤務医師数	294	347	356	62	21%	53	18%	9	3%	
人口10万対	149.2	177.5	186.9	37.7	25%	28.3	19%	9.4	5%	
男性医師数	273	310	312	39	14%	37	14%	2	1%	
人口10万対	138.6	158.6	163.8	25.3	18%	20.0	14%	5.3	3%	
女性医師数	21	37	44	23	110%	16	76%	7	19%	
人口10万対	10.7	18.9	23.1	12.4	117%	8.3	78%	4.2	22%	
病院勤務医師数	180	214	222	42	23%	34	19%	8	4%	
人口10万対	91.4	109.5	116.6	25.2	28%	18.1	20%	7.1	6%	
診療所勤務医師数	114	133	134	20	18%	19	17%	1	1%	
人口10万対	57.9	68.0	70.4	12.5	22%	10.2	18%	2.3	3%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.8	49.4	54.0	4.2	9%	-0.3	-1%	4.5	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	64	52	25	-39	-61%	-12	-19%	-27	-52%
	35-49歳	98	159	114	16	16%	61	62%	-45	-28%
	50-64歳	66	81	152	86	130%	15	23%	71	88%
	65歳以上	66	55	65	-1	-2%	-11	-17%	10	18%
	75歳以上(再掲)	22	25	21	-1	-5%	3	14%	-4	-16%
男性	24-34歳	54	44	21	-33	-61%	-10	-19%	-23	-52%
	35-49歳	94	135	87	-7	-7%	41	44%	-48	-36%
	50-64歳	62	79	141	79	127%	17	27%	62	78%
	65歳以上	63	52	63	0	0%	-11	-17%	11	21%
	75歳以上(再掲)	21	23	20	-1	-5%	2	10%	-3	-13%
女性	24-34歳	10	8	4	-6	-60%	-2	-20%	-4	-50%
	35-49歳	4	24	27	23	575%	20	500%	3	13%
	50-64歳	4	2	11	7	175%	-2	-50%	9	450%
	65歳以上	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%
	75歳以上(再掲)	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%
病院	24-34歳	60	51	23	-37	-62%	-9	-15%	-28	-55%
	35-49歳	65	102	90	25	38%	37	57%	-12	-12%
	50-64歳	33	33	79	46	139%	0	0%	46	139%
	65歳以上	22	28	30	8	36%	6	27%	2	7%
	75歳以上(再掲)	8	11	10	2	25%	3	38%	-1	-9%
診療所	24-34歳	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
	35-49歳	33	57	24	-9	-27%	24	73%	-33	-58%
	50-64歳	33	48	73	40	121%	15	45%	25	52%
	65歳以上	44	27	35	-9	-20%	-17	-39%	8	30%
	75歳以上(再掲)	14	14	11	-3	-21%	0	0%	-3	-21%
	85歳以上(再掲)	3	0	4	1	33%	-3	-100%	4	



## 都城北諸県医療圏

### <医師数の推移>

都城北諸県医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、脳神経外科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、皮膚科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	294	149.2	46	347	177.5	46	356	186.9	44	62	21%	37.7	25%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	121	61.4	46	128	65.5	45	116	60.9	41	-5	-4%	-0.5	-1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	15	7.6	43	15	7.7	41	19	10.0	44	4	27%	2.4	31%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	21	10.7	57	35	17.9	68	31	16.3	57	10	48%	5.6	53%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	33	16.8	46	40	20.5	53	41	21.5	54	8	24%	4.8	29%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0		0.0	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	1	0.5	41	3	1.6	45	3		1.6	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	6	3.0	44	12	6.1	55	17	8.9	62	11	183%	5.9	193%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	21	10.7	45	24	12.3	45	25	13.1	43	4	19%	2.5	23%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	2	1.1	44	2		1.1	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	7	3.6	45	5	2.6	39	5	2.6	37	-2	-29%	-0.9	-26%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	15	7.6	48	20	10.2	51	21	11.0	52	6	40%	3.4	45%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	9	4.6	43	10	5.1	44	10	5.3	43	1	11%	0.7	15%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	9	4.6	52	11	5.6	54	12	6.3	53	3	33%	1.7	38%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	18	9.1	48	17	8.7	49	17	8.9	47	-1	-6%	-0.2	-2%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	4	2.0	55	5	2.6	54	5		2.6	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	11	5.6	57	10	5.1	54	9	4.7	49	-2	-18%	-0.9	-15%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	8	4.1	50	12	6.1	54	15	7.9	51	7	88%	3.8	94%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	4	2.1	48	4		2.1	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				3	1.5	39	3	1.6	38	3	0%	0.0	3%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	1	0.5	38	1		0.5	

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 都城北諸県医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は22,462人(-12%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は35人(-10%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は191人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は2%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

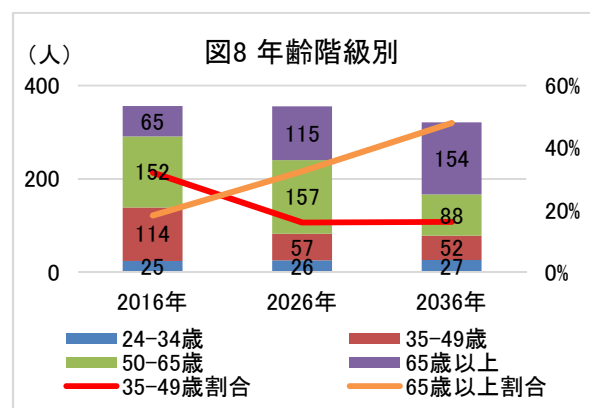
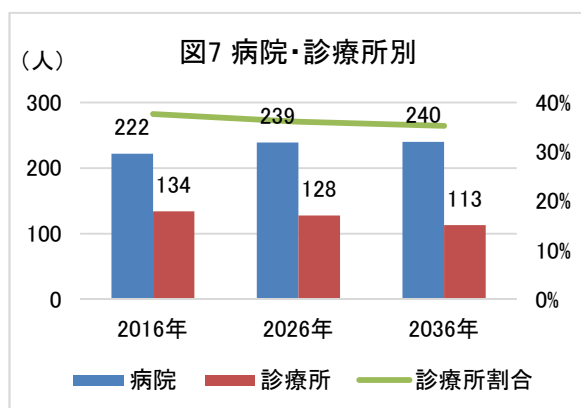
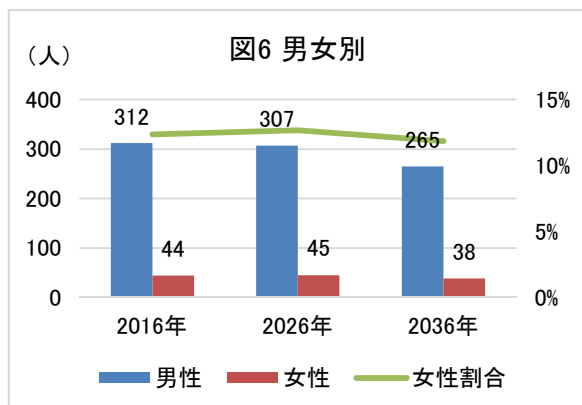
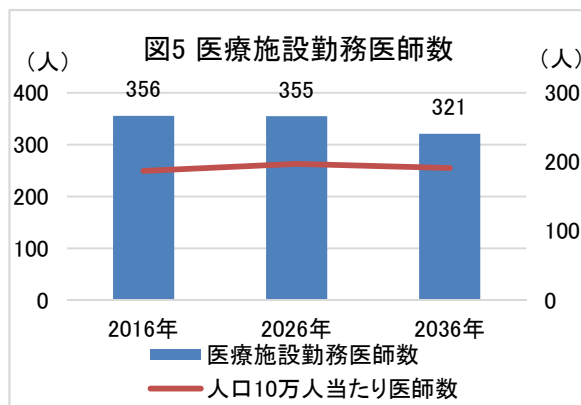
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて47人(-15%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(-14%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は12%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて18人(8%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に21人(-16%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は35%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は62人(-54%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて89人(137%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年48%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



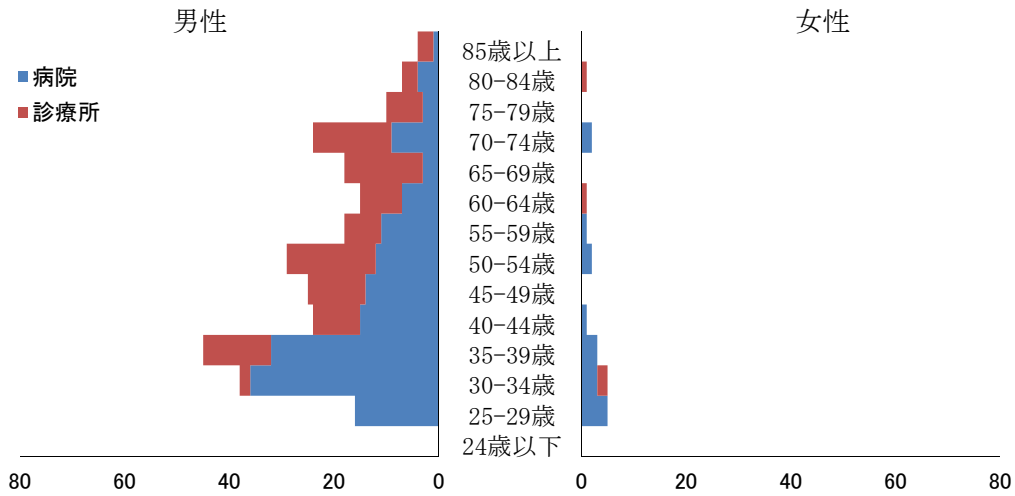
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 都城北諸県医療圏

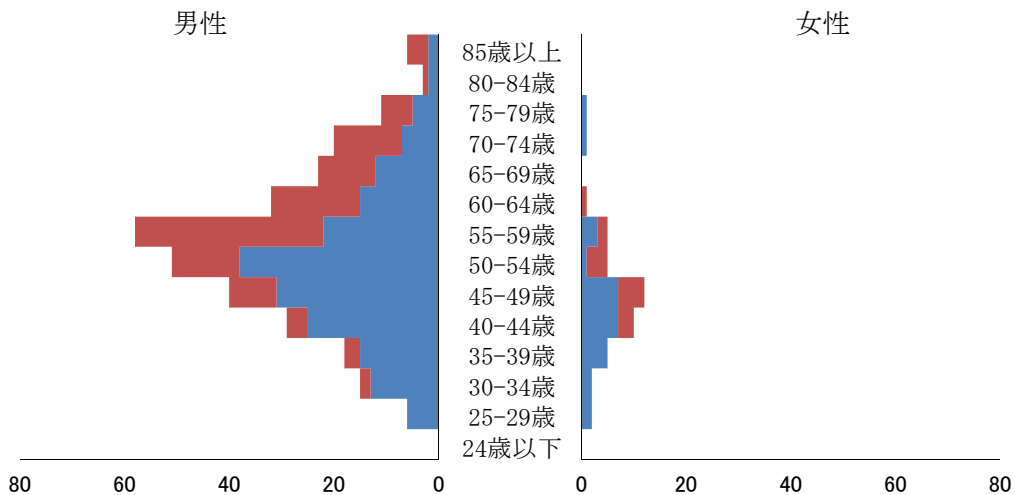
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

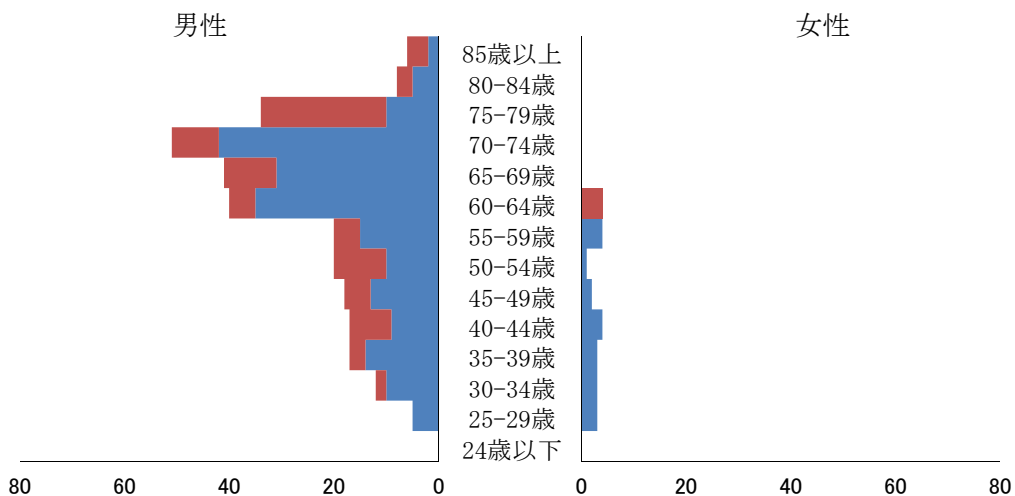
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 都城北諸県医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	190,433	180,094	167,971	-22,462	-12%	-10,339	-5%	-12,123	-7%	
医療施設勤務医師数	356	355	321	-35	-10%	-1	0%	-34	-10%	
人口10万対	186.9	197.1	191.1	4.2	2%	10.2	5%	-6.0	-3%	
男性医師数	312	307	265	-47	-15%	-5	-2%	-42	-14%	
人口10万対	163.8	170.5	157.8	-6.1	-4%	6.6	4%	-12.7	-7%	
女性医師数	44	45	38	-6	-14%	1	2%	-7	-16%	
人口10万対	23.1	25.0	22.6	-0.5	-2%	1.9	8%	-2.4	-9%	
病院勤務医師数	222	239	240	18	8%	17	8%	1	0%	
人口10万対	116.6	132.7	142.9	26.3	23%	16.1	14%	10.2	8%	
診療所勤務医師数	134	128	113	-21	-16%	-6	-4%	-15	-12%	
人口10万対	70.4	71.1	67.3	-3.1	-4%	0.7	1%	-3.8	-5%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	25	26	27	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	114	57	52	-62	-54%	-57	-50%	-5	-9%
	50-64歳	152	157	88	-64	-42%	5	3%	-69	-44%
	65歳以上	65	115	154	89	137%	50	77%	39	34%
	75歳以上(再掲)	21	25	51	30	143%	4	19%	26	104%
男性	24-34歳	21	22	17	-4	-19%	1	5%	-5	-23%
	35-49歳	87	46	46	-41	-47%	-41	-47%	0	0%
	50-64歳	141	130	70	-71	-50%	-11	-8%	-60	-46%
	65歳以上	63	109	132	69	110%	46	73%	23	21%
	75歳以上(再掲)	20	25	47	27	135%	5	25%	22	88%
女性	24-34歳	4	4	6	2	50%	0	0%	2	50%
	35-49歳	27	13	10	-17	-63%	-14	-52%	-3	-23%
	50-64歳	11	27	17	6	55%	16	145%	-10	-37%
	65歳以上	2	1	5	3	150%	-1	-50%	4	400%
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	23	24	25	2	9%	1	4%	1	4%
	35-49歳	90	46	42	-48	-53%	-44	-49%	-4	-9%
	50-64歳	79	120	72	-7	-9%	41	52%	-48	-40%
	65歳以上	30	49	101	71	237%	19	63%	52	106%
	75歳以上(再掲)	10	11	20	10	100%	1	10%	9	82%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	24	21	21	-3	-13%	-3	-13%	0	0%
	50-64歳	73	40	30	-43	-59%	-33	-45%	-10	-25%
	65歳以上	35	65	60	25	71%	30	86%	-5	-8%
	75歳以上(再掲)	11	13	32	21	191%	2	18%	19	146%
	85歳以上(再掲)	4	3	4	0	0%	-1	-25%	1	33%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 延岡西臼杵医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は23,977人(-14%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は2人(1%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は168人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

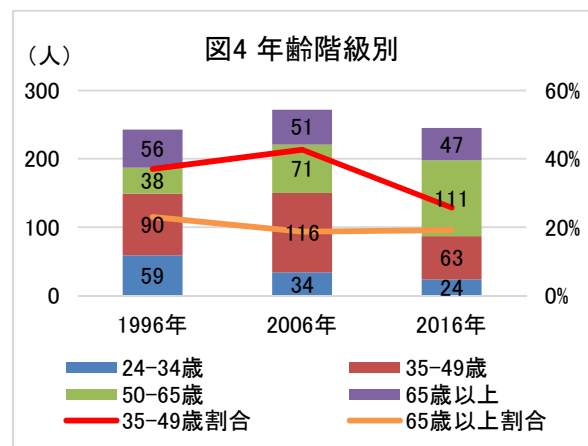
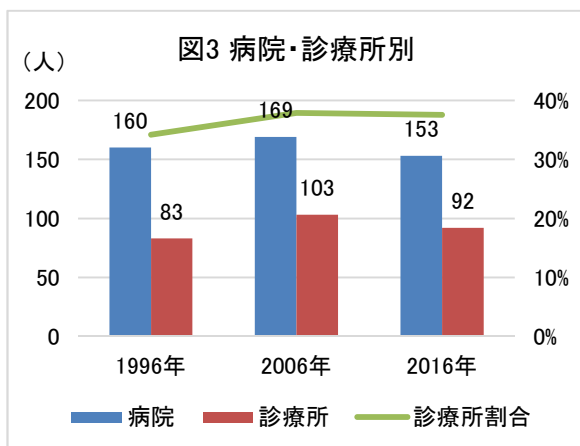
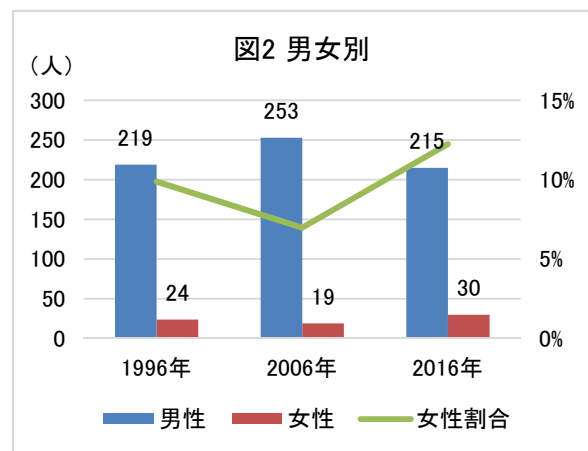
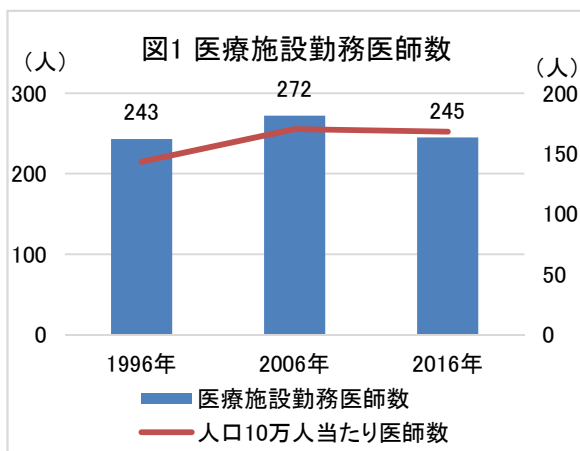
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて4人(-2%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に6人(25%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて7人(-4%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(11%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は38%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は27人(-30%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて9人(-16%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年23%、2016年19%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 延岡西臼杵医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	169,724	159,803	145,747	-23,977	-14%	-9,921	-6%	-14,056	-9%	
総医師数	246	286	262	16	7%	40	16%	-24	-8%	
人口10万対	144.9	179.0	179.8	34.8	24%	34.0	23%	0.8	0%	
医療施設勤務医師数	243	272	245	2	1%	29	12%	-27	-10%	
人口10万対	143.2	170.2	168.1	24.9	17%	27.0	19%	-2.1	-1%	
男性医師数	219	253	215	-4	-2%	34	16%	-38	-15%	
人口10万対	129.0	158.3	147.5	18.5	14%	29.3	23%	-10.8	-7%	
女性医師数	24	19	30	6	25%	-5	-21%	11	58%	
人口10万対	14.1	11.9	20.6	6.4	46%	-2.3	-16%	8.7	73%	
病院勤務医師数	160	169	153	-7	-4%	9	6%	-16	-9%	
人口10万対	94.3	105.8	105.0	10.7	11%	11.5	12%	-0.8	-1%	
診療所勤務医師数	83	103	92	9	11%	20	24%	-11	-11%	
人口10万対	48.9	64.5	63.1	14.2	29%	15.6	32%	-1.3	-2%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.9	50.9	54.3	5.4	11%	2.0	4%	3.4	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	59	34	24	-35	-59%	-25	-42%	-10	-29%
	35-49歳	90	116	63	-27	-30%	26	29%	-53	-46%
	50-64歳	38	71	111	73	192%	33	87%	40	56%
	65歳以上	56	51	47	-9	-16%	-5	-9%	-4	-8%
	75歳以上(再掲)	16	29	18	2	13%	13	81%	-11	-38%
男性	24-34歳	49	28	16	-33	-67%	-21	-43%	-12	-43%
	35-49歳	81	108	53	-28	-35%	27	33%	-55	-51%
	50-64歳	35	68	103	68	194%	33	94%	35	51%
	65歳以上	54	49	43	-11	-20%	-5	-9%	-6	-12%
	75歳以上(再掲)	16	28	16	0	0%	12	75%	-12	-43%
女性	24-34歳	10	6	8	-2	-20%	-4	-40%	2	33%
	35-49歳	9	8	10	1	11%	-1	-11%	2	25%
	50-64歳	3	3	8	5	167%	0	0%	5	167%
	65歳以上	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	75歳以上(再掲)	0	1	2	2		1		1	100%
病院	24-34歳	56	25	23	-33	-59%	-31	-55%	-2	-8%
	35-49歳	64	81	48	-16	-25%	17	27%	-33	-41%
	50-64歳	14	40	59	45	321%	26	186%	19	48%
	65歳以上	26	23	23	-3	-12%	-3	-12%	0	0%
	75歳以上(再掲)	10	16	8	-2	-20%	6	60%	-8	-50%
診療所	24-34歳	3	9	1	-2	-67%	6	200%	-8	-89%
	35-49歳	26	35	15	-11	-42%	9	35%	-20	-57%
	50-64歳	24	31	52	28	117%	7	29%	21	68%
	65歳以上	30	28	24	-6	-20%	-2	-7%	-4	-14%
	75歳以上(再掲)	6	13	10	4	67%	7	117%	-3	-23%
	85歳以上(再掲)	1	2	3	2	200%	1	100%	1	50%

## 延岡西臼杵医療圏

## ＜医師数の推移＞

延岡西臼杵医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、救急科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	243	143.2	45	272	170.2	46	245	168.1	42	2	1%	24.9	17%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	97	57.2	45	112	70.1	47	92	63.1	42	-5	-5%	6.0	10%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	13	7.7	43	14	8.8	44	14	9.6	43	1	8%	1.9	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	13	7.7	49	20	12.5	56	22	15.1	55	9	69%	7.4	97%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	26	15.3	44	26	16.3	47	24	16.5	47	-2	-8%	1.1	7%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	1	0.7	51	1		0.7	
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	1	0.6	43	4	2.5	53	3	2.1	48	2	200%	1.5	249%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	2.4	42	5	3.1	42	4	2.7	38	0	0%	0.4	16%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	23	13.6	51	30	18.8	58	24	16.5	49	1	4%	2.9	22%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0		0.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	10	5.9	51	5	3.1	41	6	4.1	42	-4	-40%	-1.8	-30%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	11	6.5	45	12	7.5	45	9	6.2	40	-2	-18%	-0.3	-5%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	8	4.7	43	5	3.1	38	8	5.5	44	0	0%	0.8	16%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	10	5.9	58	9	5.6	54	5	3.4	42	-5	-50%	-2.5	-42%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	13	7.7	45	16	10.0	52	13	8.9	47	0	0%	1.3	16%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	2	1.2	56	0	0.0	38	2	1.4	46	0	0%	0.2	16%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	7	4.1	53	6	3.8	50	4	2.7	43	-3	-43%	-1.4	-33%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	2.4	45	4	2.5	43	3	2.1	39	-1	-25%	-0.3	-13%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				2	1.3	49	1	0.7	41	-1	-50%	-0.6	-45%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	0.6	38	7	4.8	41	7	600%	4.2	668%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	0.6	41	1	0.6	41	3	2.1	41	2	200%	1.5	249%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 延岡西臼杵医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は28,728人(-20%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は48人(-20%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は168人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は0%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

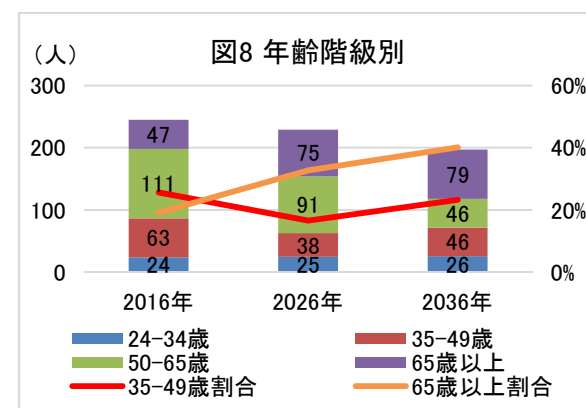
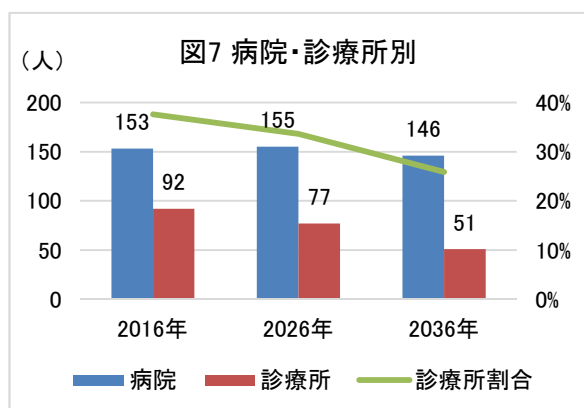
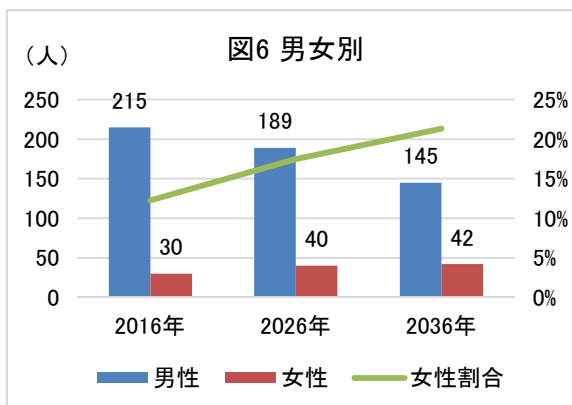
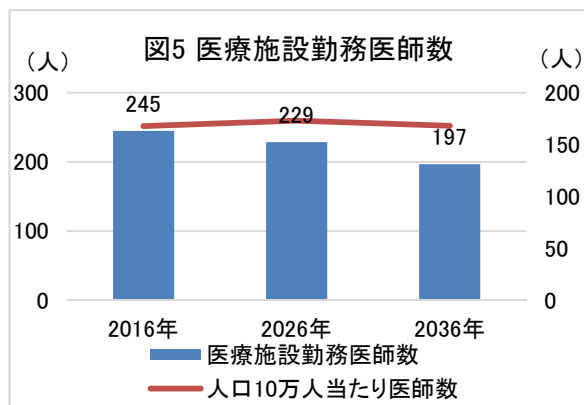
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて70人(-33%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に12人(40%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は21%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて7人(-5%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に41人(-45%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は26%と、全国平均(26%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は17人(-27%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて32人(68%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年19%、2036年40%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

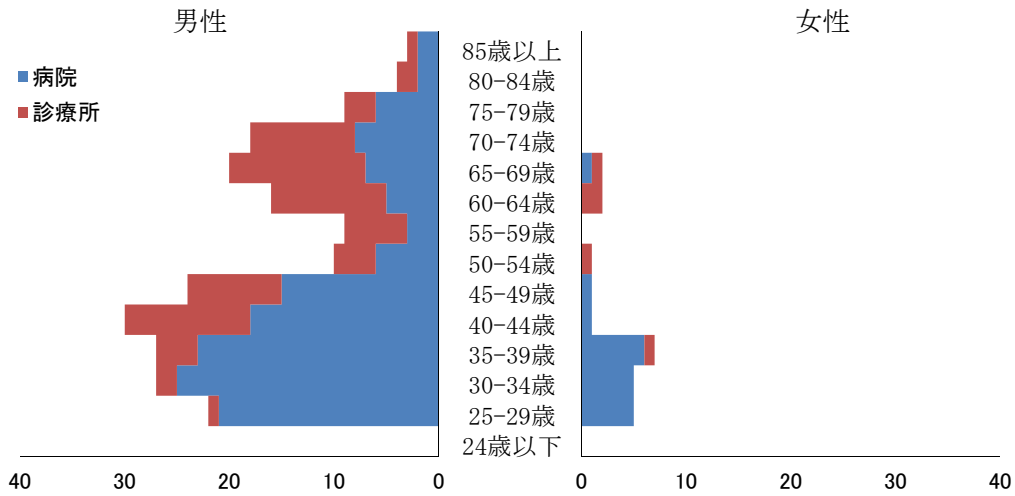


## 延岡西臼杵医療圏

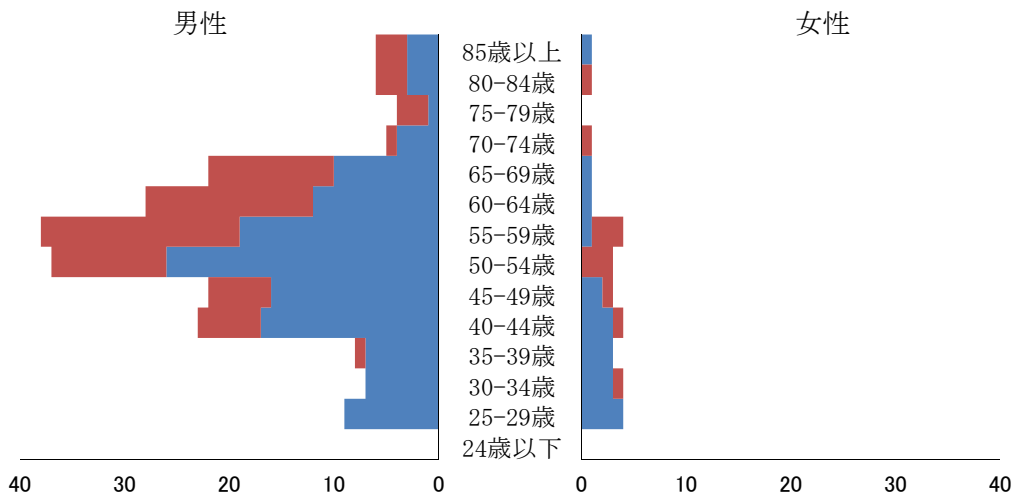
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

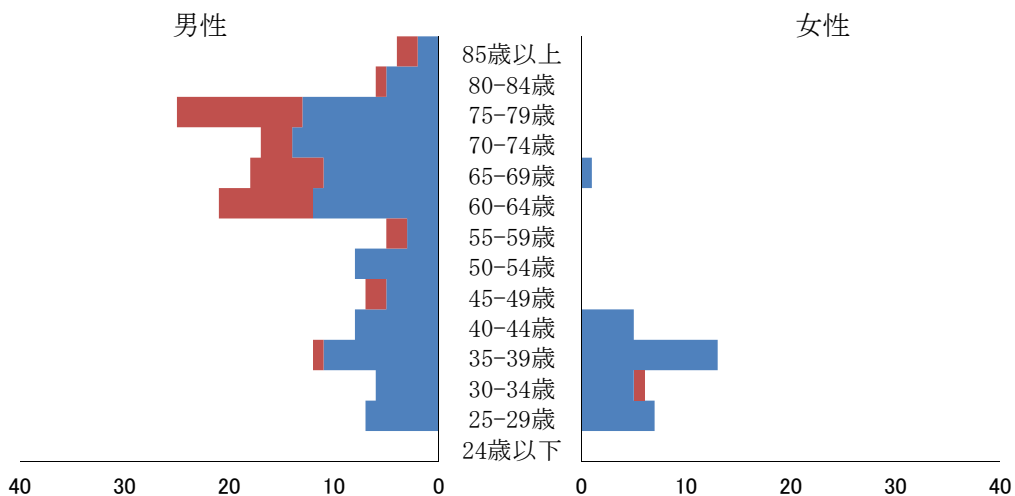
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 延岡西臼杵医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	145,747	132,232	117,019	-28,728	-20%	-13,515	-9%	-15,213	-12%	
医療施設勤務医師数	245	229	197	-48	-20%	-16	-7%	-32	-14%	
人口10万対	168.1	173.2	168.3	0.2	0%	5.1	3%	-4.8	-3%	
男性医師数	215	189	145	-70	-33%	-26	-12%	-44	-23%	
人口10万対	147.5	142.9	123.9	-23.6	-16%	-4.6	-3%	-19.0	-13%	
女性医師数	30	40	42	12	40%	10	33%	2	5%	
人口10万対	20.6	30.2	35.9	15.3	74%	9.7	47%	5.6	19%	
病院勤務医師数	153	155	146	-7	-5%	2	1%	-9	-6%	
人口10万対	105.0	117.2	124.8	19.8	19%	12.2	12%	7.5	6%	
診療所勤務医師数	92	77	51	-41	-45%	-15	-16%	-26	-34%	
人口10万対	63.1	58.2	43.6	-19.5	-31%	-4.9	-8%	-14.6	-25%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	24	25	26	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	63	38	46	-17	-27%	-25	-40%	8	21%
	50-64歳	111	91	46	-65	-59%	-20	-18%	-45	-49%
	65歳以上	47	75	79	32	68%	28	60%	4	5%
	75歳以上(再掲)	18	22	37	19	106%	4	22%	15	68%
男性	24-34歳	16	17	13	-3	-19%	1	6%	-4	-24%
	35-49歳	53	23	28	-25	-47%	-30	-57%	5	22%
	50-64歳	103	81	36	-67	-65%	-22	-21%	-45	-56%
	65歳以上	43	68	68	25	58%	25	58%	0	0%
	75歳以上(再掲)	16	20	31	15	94%	4	25%	11	55%
女性	24-34歳	8	8	13	5	63%	0	0%	5	63%
	35-49歳	10	15	16	6	60%	5	50%	1	7%
	50-64歳	8	9	7	-1	-13%	1	13%	-2	-22%
	65歳以上	4	8	6	2	50%	4	100%	-2	-25%
	75歳以上(再掲)	2	3	1	-1	-50%	1	50%	-2	-67%
病院	24-34歳	23	24	25	2	9%	1	4%	1	4%
	35-49歳	48	35	40	-8	-17%	-13	-27%	5	14%
	50-64歳	59	57	32	-27	-46%	-2	-3%	-25	-44%
	65歳以上	23	39	49	26	113%	16	70%	10	26%
	75歳以上(再掲)	8	15	23	15	188%	7	88%	8	53%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	4	4	-11	-73%	-11	-73%	0	0%
	50-64歳	52	32	13	-39	-75%	-20	-38%	-19	-59%
	65歳以上	24	40	33	9	38%	16	67%	-7	-18%
	75歳以上(再掲)	10	10	19	9	90%	0	0%	9	90%
	85歳以上(再掲)	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 日南串間医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は18,183人(-20%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は15人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は224人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は38%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

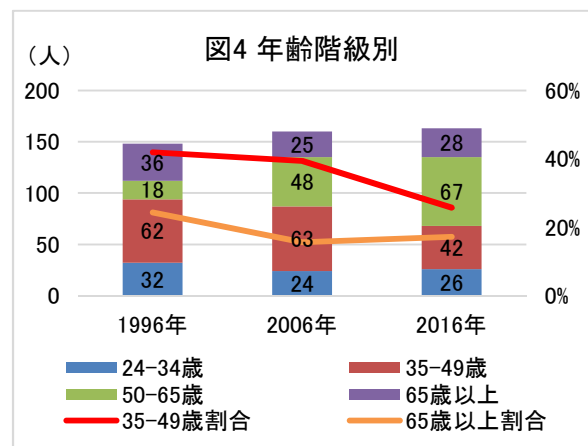
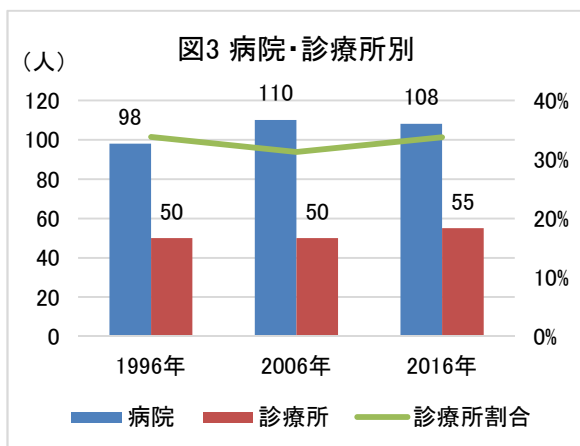
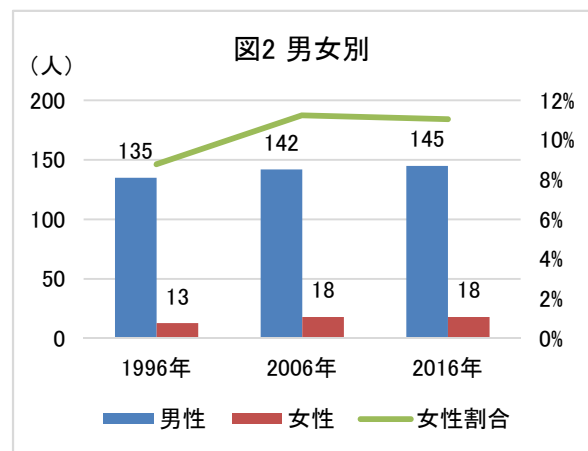
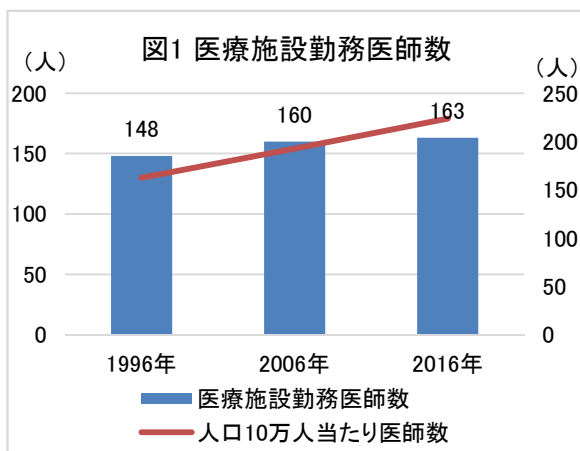
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて10人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に5人(38%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて10人(10%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は20人(-32%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて8人(-22%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年24%、2016年17%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 日南串間医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	91,052	83,032	72,869	-18,183	-20%	-8,020	-9%	-10,163	-12%	
総医師数	152	166	170	18	12%	14	9%	4	2%	
人口10万対	166.9	199.9	233.3	66.4	40%	33.0	20%	33.4	17%	
医療施設勤務医師数	148	160	163	15	10%	12	8%	3	2%	
人口10万対	162.5	192.7	223.7	61.1	38%	30.2	19%	31.0	16%	
男性医師数	135	142	145	10	7%	7	5%	3	2%	
人口10万対	148.3	171.0	199.0	50.7	34%	22.8	15%	28.0	16%	
女性医師数	13	18	18	5	38%	5	38%	0	0%	
人口10万対	14.3	21.7	24.7	10.4	73%	7.4	52%	3.0	14%	
病院勤務医師数	98	110	108	10	10%	12	12%	-2	-2%	
人口10万対	107.6	132.5	148.2	40.6	38%	24.8	23%	15.7	12%	
診療所勤務医師数	50	50	55	5	10%	0	0%	5	10%	
人口10万対	54.9	60.2	75.5	20.6	37%	5.3	10%	15.3	25%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.6	49.9	52.2	3.6	7%	1.3	3%	2.3	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	32	24	26	-6	-19%	-8	-25%	2	8%
	35-49歳	62	63	42	-20	-32%	1	2%	-21	-33%
	50-64歳	18	48	67	49	272%	30	167%	19	40%
	65歳以上	36	25	28	-8	-22%	-11	-31%	3	12%
	75歳以上(再掲)	5	13	7	2	40%	8	160%	-6	-46%
男性	24-34歳	25	22	19	-6	-24%	-3	-12%	-3	-14%
	35-49歳	59	49	39	-20	-34%	-10	-17%	-10	-20%
	50-64歳	18	46	59	41	228%	28	156%	13	28%
	65歳以上	33	25	28	-5	-15%	-8	-24%	3	12%
	75歳以上(再掲)	4	13	7	3	75%	9	225%	-6	-46%
女性	24-34歳	7	2	7	0	0%	-5	-71%	5	250%
	35-49歳	3	14	3	0	0%	11	367%	-11	-79%
	50-64歳	0	2	8	8		2		6	300%
	65歳以上	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	30	24	26	-4	-13%	-6	-20%	2	8%
	35-49歳	45	49	33	-12	-27%	4	9%	-16	-33%
	50-64歳	6	23	38	32	533%	17	283%	15	65%
	65歳以上	17	14	11	-6	-35%	-3	-18%	-3	-21%
	75歳以上(再掲)	3	8	2	-1	-33%	5	167%	-6	-75%
診療所	24-34歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	35-49歳	17	14	9	-8	-47%	-3	-18%	-5	-36%
	50-64歳	12	25	29	17	142%	13	108%	4	16%
	65歳以上	19	11	17	-2	-11%	-8	-42%	6	55%
	75歳以上(再掲)	2	5	5	3	150%	3	150%	0	0%
	85歳以上(再掲)	2	0	1	-1	-50%	-2	-100%	1	

## 日南串間医療圏

## ＜医師数の推移＞

日南串間医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科、外科(総数)、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、小児外科、心臓血管外科、形成外科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、救急科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	148	162.5	47	160	192.7	48	163	223.7	48	15	10%	61.1	38%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	57	62.6	46	66	79.5	50	64	87.8	49	7	12%	25.2	40%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	5.5	38	11	13.2	54	8	11.0	46	3	60%	5.5	100%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	12	13.2	63	17	20.5	74	15	20.6	65	3	25%	7.4	56%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	22	24.2	54	18	21.7	55	17	23.3	56	-5	-23%	-0.8	-3%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	3	3.3	45	3	3.6	45	4	5.5	49	1	33%	2.2	67%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	10	11.0	46	11	13.2	47	14	19.2	55	4	40%	8.2	75%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	1.1	50	0	0.0	39	0	0.0	37	-1	-100%	-1.1	-100%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	4.4	47	4	4.8	46	4	5.5	45	0	0%	1.1	25%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	12	13.2	59	7	8.4	47	7	9.6	48	-5	-42%	-3.6	-27%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	4.4	43	3	3.6	39	3	4.1	40	-1	-25%	-0.3	-6%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	4	4.4	51	5	6.0	55	4	5.5	50	0	0%	1.1	25%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	9.9	50	8	9.6	51	6	8.2	45	-3	-33%	-1.7	-17%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	2	2.7	55	2	2	2.7	2.7
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	2.2	46	2	2.4	45	1	1.4	40	-1	-50%	-0.8	-38%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.2	44	3	3.6	46	3	4.1	43	1	50%	1.9	87%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	10	13.7	51	10	13.7	13.7	13.7
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.1	43	2	2.4	45	1	1.4	40	0	0%	0.3	25%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 日南串間医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は18,545人(-25%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は1人(-1%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は298人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は33%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

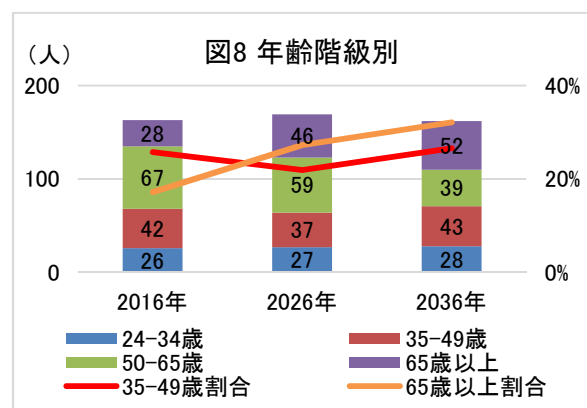
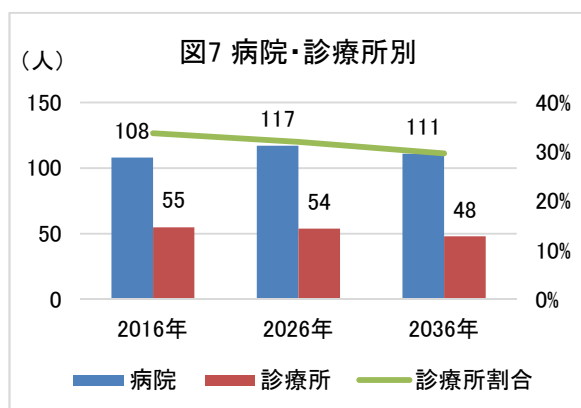
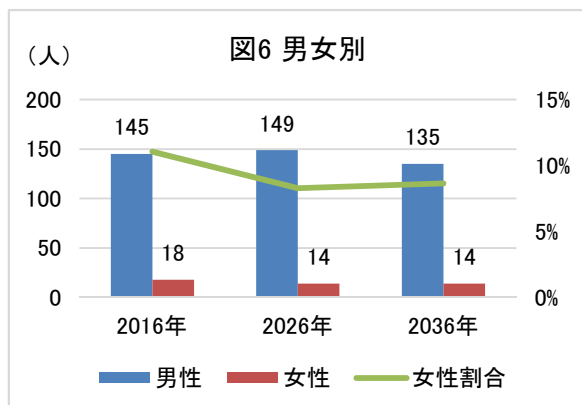
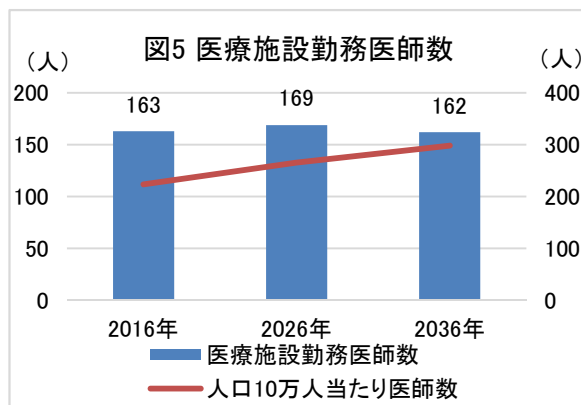
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて10人(-7%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(-22%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は9%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(3%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に7人(-13%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は30%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は1人(2%)増え、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて24人(86%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年17%、2036年32%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



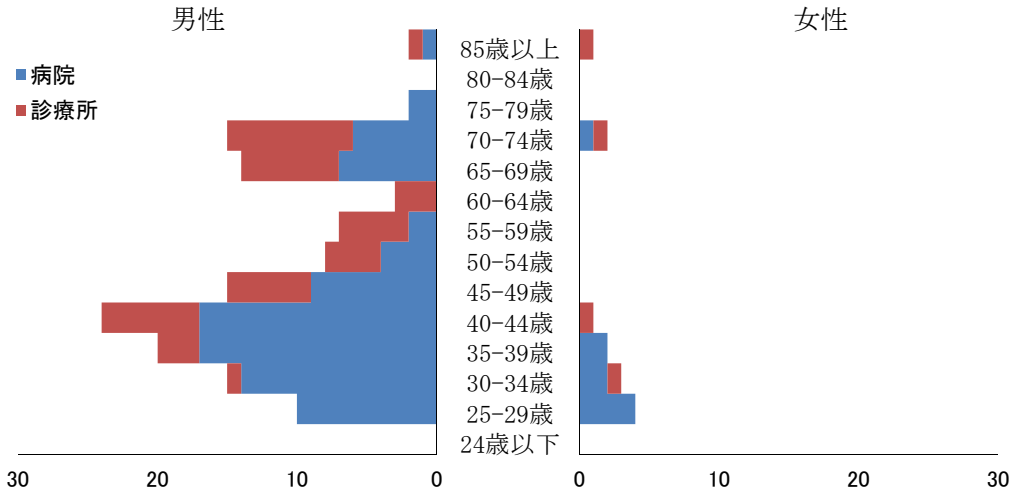
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

日南串間医療圏

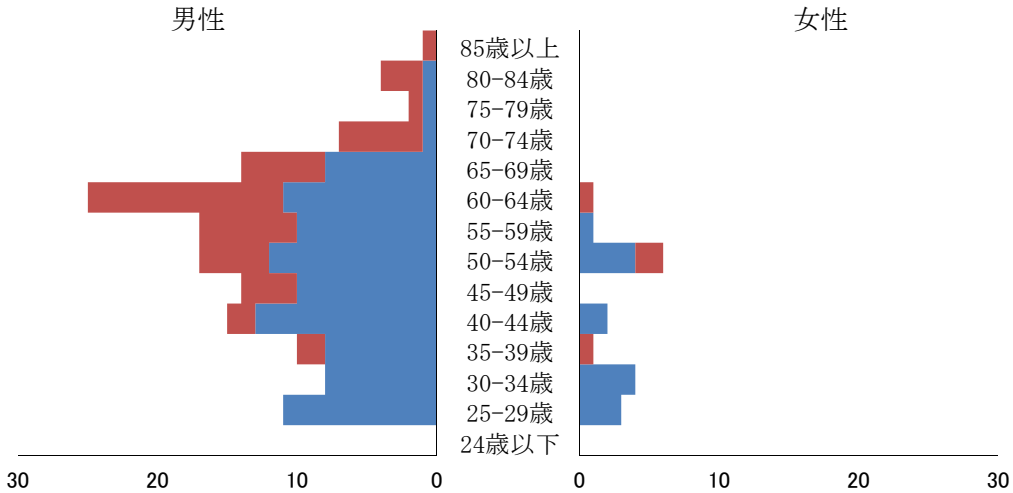
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

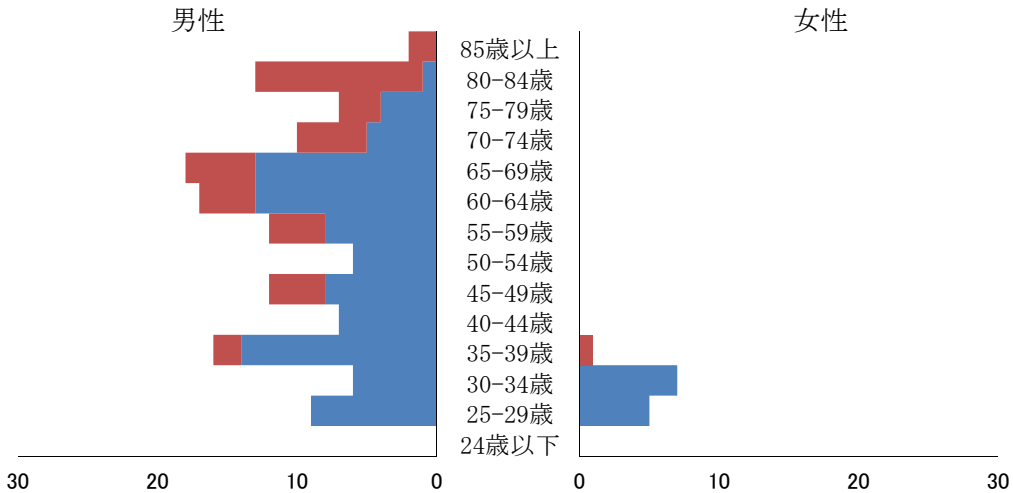
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 日南串間医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	72,869	63,662	54,324	-18,545	-25%	-9,207	-13%	-9,338	-15%	
医療施設勤務医師数	163	169	162	-1	-1%	6	4%	-7	-4%	
人口10万対	223.7	265.5	298.2	74.5	33%	41.8	19%	32.7	12%	
男性医師数	145	149	135	-10	-7%	4	3%	-14	-9%	
人口10万対	199.0	234.0	248.5	49.5	25%	35.1	18%	14.5	6%	
女性医師数	18	14	14	-4	-22%	-4	-22%	0	0%	
人口10万対	24.7	22.0	25.8	1.1	4%	-2.7	-11%	3.8	17%	
病院勤務医師数	108	117	111	3	3%	9	8%	-6	-5%	
人口10万対	148.2	183.8	204.3	56.1	38%	35.6	24%	20.5	11%	
診療所勤務医師数	55	54	48	-7	-13%	-1	-2%	-6	-11%	
人口10万対	75.5	84.8	88.4	12.9	17%	9.3	12%	3.5	4%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	26	27	28	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	42	37	43	1	2%	-5	-12%	6	16%
	50-64歳	67	59	39	-28	-42%	-8	-12%	-20	-34%
	65歳以上	28	46	52	24	86%	18	64%	6	13%
	75歳以上(再掲)	7	11	18	11	157%	4	57%	7	64%
男性	24-34歳	19	20	15	-4	-21%	1	5%	-5	-25%
	35-49歳	39	32	37	-2	-5%	-7	-18%	5	16%
	50-64歳	59	52	35	-24	-41%	-7	-12%	-17	-33%
	65歳以上	28	45	48	20	71%	17	61%	3	7%
	75歳以上(再掲)	7	11	17	10	143%	4	57%	6	55%
女性	24-34歳	7	7	11	4	57%	0	0%	4	57%
	35-49歳	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	50-64歳	8	5	1	-7	-88%	-3	-38%	-4	-80%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	26	27	28	2	8%	1	4%	1	4%
	35-49歳	33	28	32	-1	-3%	-5	-15%	4	14%
	50-64歳	38	45	29	-9	-24%	7	18%	-16	-36%
	65歳以上	11	17	22	11	100%	6	55%	5	29%
	75歳以上(再掲)	2	4	5	3	150%	2	100%	1	25%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	9	9	9	0	0%	0	0%	0	0%
	50-64歳	29	15	9	-20	-69%	-14	-48%	-6	-40%
	65歳以上	17	30	30	13	76%	13	76%	0	0%
	75歳以上(再掲)	5	9	18	13	260%	4	80%	9	100%
	85歳以上(再掲)	1	1	2	1	100%	0	0%	1	100%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)



## 西諸医療圏

### < 医師数の推移 >

1996年から2016年にかけて、総人口は15,260人(-17%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は3人(-2%)減少した。2016年の人口10万人当たり医師数は165人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は17%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

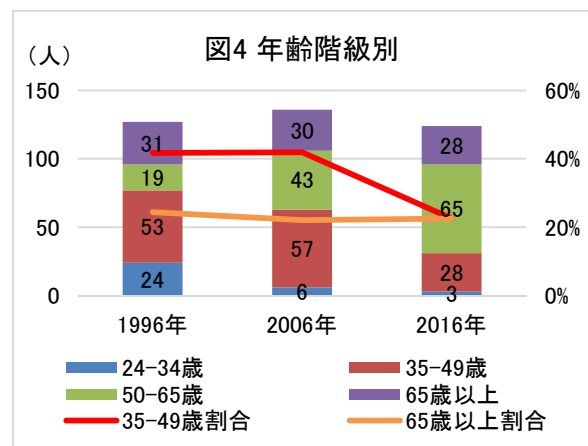
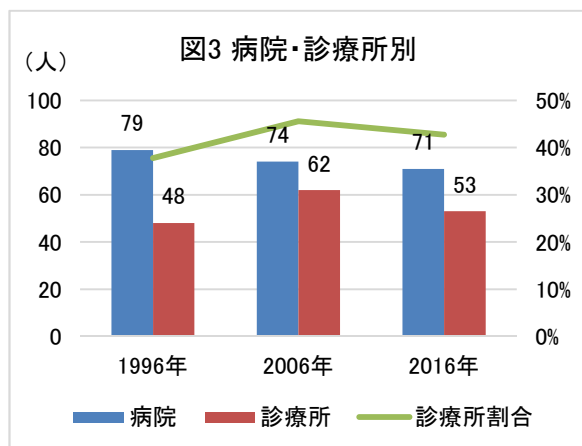
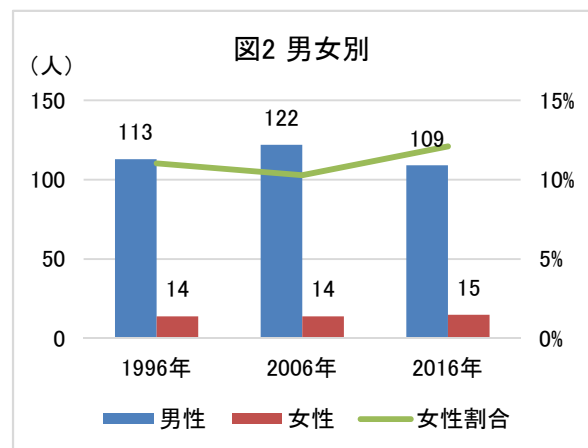
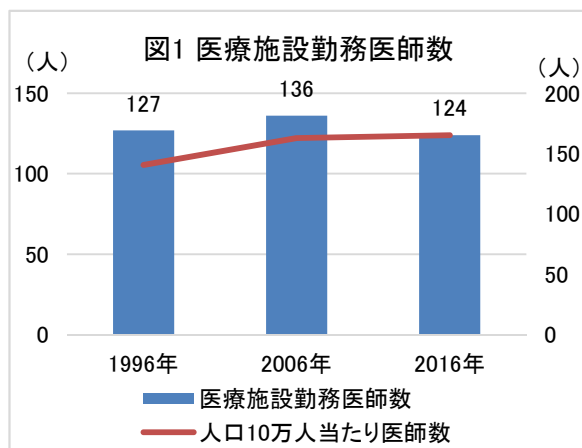
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて4人(-4%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に1人(7%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて8人(-10%)減り、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に5人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は43%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は25人(-47%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-10%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年24%、2016年23%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 西諸医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	90,319	83,522	75,059	-15,260	-17%	-6,797	-8%	-8,463	-10%	
総医師数	132	139	129	-3	-2%	7	5%	-10	-7%	
人口10万対	146.1	166.4	171.9	25.7	18%	20.3	14%	5.4	3%	
医療施設勤務医師数	127	136	124	-3	-2%	9	7%	-12	-9%	
人口10万対	140.6	162.8	165.2	24.6	17%	22.2	16%	2.4	1%	
男性医師数	113	122	109	-4	-4%	9	8%	-13	-11%	
人口10万対	125.1	146.1	145.2	20.1	16%	21.0	17%	-0.9	-1%	
女性医師数	14	14	15	1	7%	0	0%	1	7%	
人口10万対	15.5	16.8	20.0	4.5	29%	1.3	8%	3.2	19%	
病院勤務医師数	79	74	71	-8	-10%	-5	-6%	-3	-4%	
人口10万対	87.5	88.6	94.6	7.1	8%	1.1	1%	6.0	7%	
診療所勤務医師数	48	62	53	5	10%	14	29%	-9	-15%	
人口10万対	53.1	74.2	70.6	17.5	33%	21.1	40%	-3.6	-5%	
医療施設勤務医 平均年齢	49.7	54.6	57.2	7.5	15%	4.9	10%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	24	6	3	-21	-88%	-18	-75%	-3	-50%
	35-49歳	53	57	28	-25	-47%	4	8%	-29	-51%
	50-64歳	19	43	65	46	242%	24	126%	22	51%
	65歳以上	31	30	28	-3	-10%	-1	-3%	-2	-7%
	75歳以上(再掲)	8	21	8	0	0%	13	163%	-13	-62%
男性	24-34歳	16	6	3	-13	-81%	-10	-63%	-3	-50%
	35-49歳	50	49	26	-24	-48%	-1	-2%	-23	-47%
	50-64歳	18	41	54	36	200%	23	128%	13	32%
	65歳以上	29	26	26	-3	-10%	-3	-10%	0	0%
	75歳以上(再掲)	7	18	6	-1	-14%	11	157%	-12	-67%
女性	24-34歳	8	0	0	-8	-100%	-8	-100%	0	
	35-49歳	3	8	2	-1	-33%	5	167%	-6	-75%
	50-64歳	1	2	11	10	1000%	1	100%	9	450%
	65歳以上	2	4	2	0	0%	2	100%	-2	-50%
	75歳以上(再掲)	1	3	2	1	100%	2	200%	-1	-33%
病院	24-34歳	23	6	3	-20	-87%	-17	-74%	-3	-50%
	35-49歳	37	39	20	-17	-46%	2	5%	-19	-49%
	50-64歳	9	21	36	27	300%	12	133%	15	71%
	65歳以上	10	8	12	2	20%	-2	-20%	4	50%
	75歳以上(再掲)	4	6	2	-2	-50%	2	50%	-4	-67%
診療所	24-34歳	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	35-49歳	16	18	8	-8	-50%	2	13%	-10	-56%
	50-64歳	10	22	29	19	190%	12	120%	7	32%
	65歳以上	21	22	16	-5	-24%	1	5%	-6	-27%
	75歳以上(再掲)	4	15	6	2	50%	11	275%	-9	-60%
	85歳以上(再掲)	0	3	3	3		3		0	0%

## 西諸医療圏

## ＜医師数の推移＞

西諸医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、外科(総数)、整形外科、泌尿器科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、小児科、外科(総数)、皮膚科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	127	140.6	45	136	162.8	45	124	165.2	42	-3	-2%	24.6	17%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	48	53.1	43	57	68.2	46	44	58.6	40	-4	-8%	5.5	10%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	10.0	48	5	6.0	38	4	5.3	35	-5	-56%	-4.6	-47%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	7	7.8	49	9	10.8	52	9	12.0	49	2	29%	4.2	55%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	21	23.3	53	20	23.9	58	19	25.3	59	-2	-10%	2.1	9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	1.1	37	3	3.6	44	2	2.7	38	1	100%	1.6	141%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	12	13.3	50	15	18.0	57	19	25.3	66	7	58%	12.0	91%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	1	1.2	48	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	4.4	47	3	3.6	42	3	4.0	41	-1	-25%	-0.4	-10%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	7	7.8	48	7	8.4	47	7	9.3	48	0	0%	1.6	20%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	2	2.2	36	3	3.6	39	3	4.0	39	1	50%	1.8	80%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	3.3	47	6	7.2	61	6	8.0	60	3	100%	4.7	141%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	11	12.2	55	6	7.2	45	4	5.3	39	-7	-64%	-6.8	-56%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	1	1.2	48	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.2	45	0	0.0	36	2	2.7	40	0	0%	0.5	20%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	1.3	44	1		1.3	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	40	1	1.3	39	1		1.3	

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 西諸医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は16,390人(-22%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は29人(-23%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は162人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-2%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

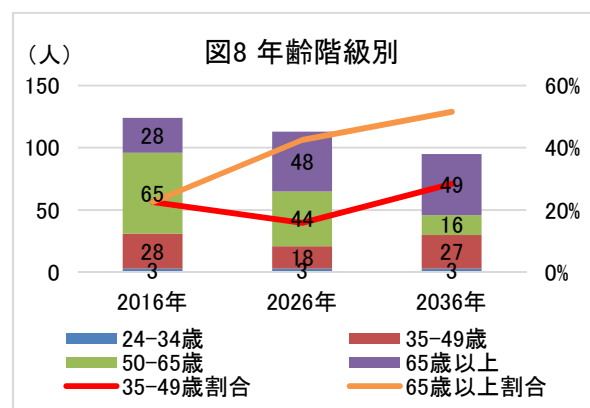
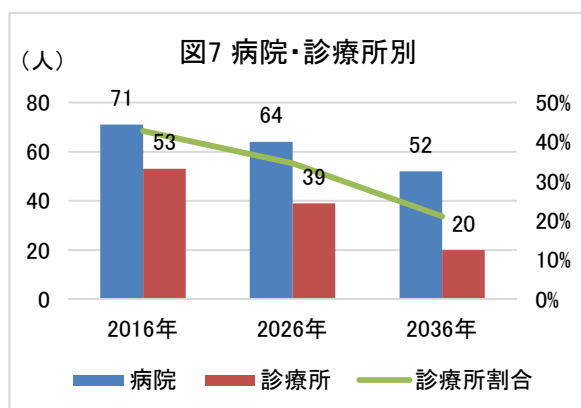
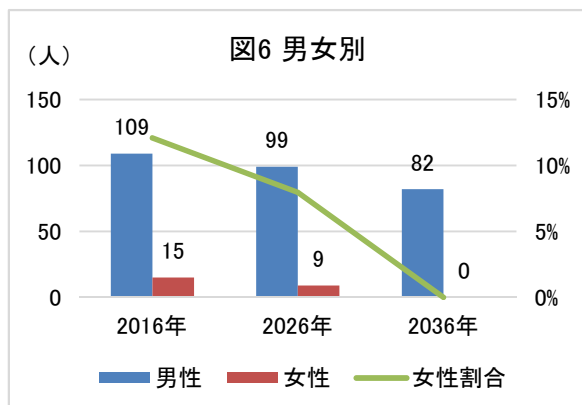
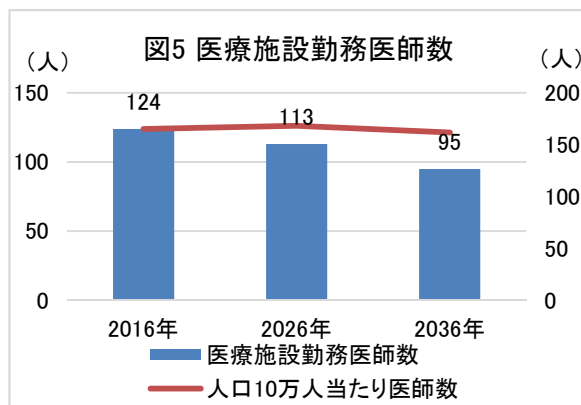
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて27人(-25%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に15人(-100%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は0%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて19人(-27%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に33人(-62%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は21%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は1人(-4%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて21人(75%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年23%、2036年52%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



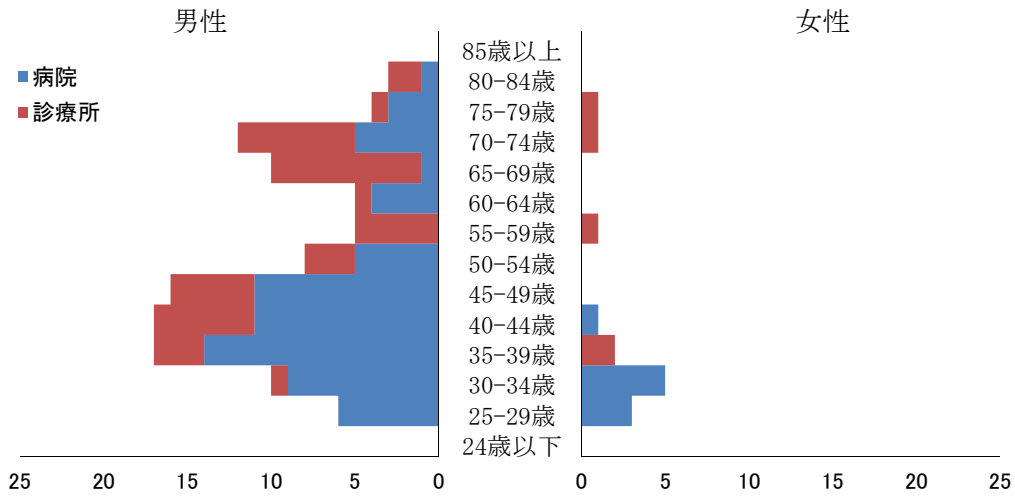
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

西諸医療圏

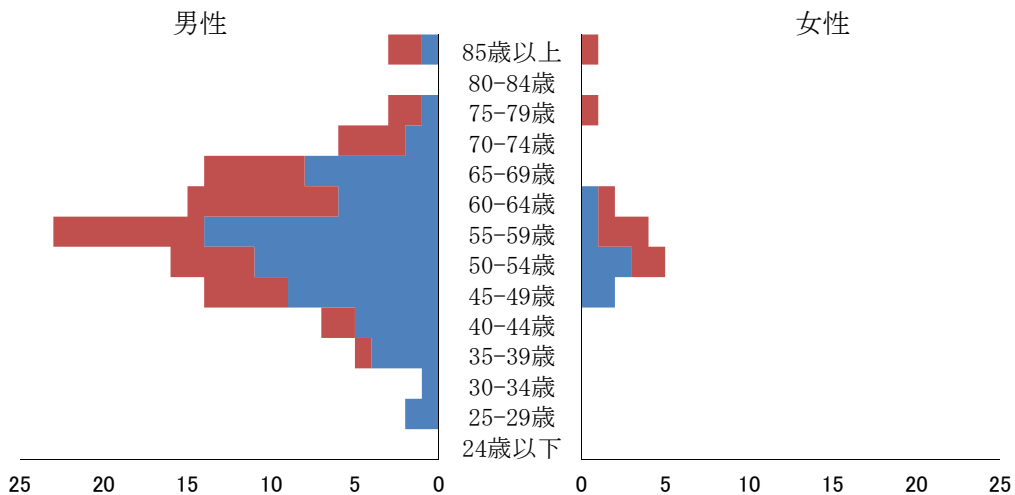
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

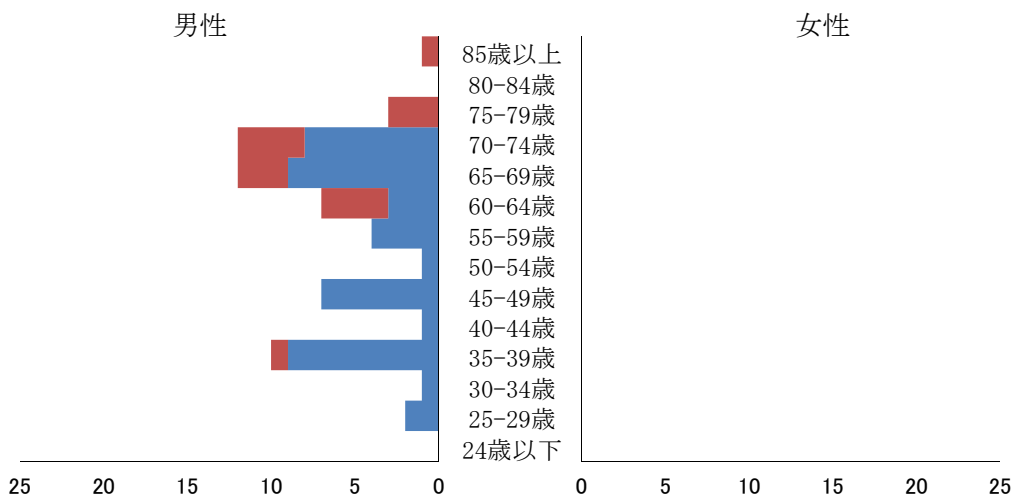
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 西諸医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	75,059	67,147	58,669	-16,390	-22%	-7,912	-11%	-8,478	-13%	
医療施設勤務医師数	124	113	95	-29	-23%	-11	-9%	-18	-16%	
人口10万対	165.2	168.3	161.9	-3.3	-2%	3.1	2%	-6.4	-4%	
男性医師数	109	99	82	-27	-25%	-10	-9%	-17	-17%	
人口10万対	145.2	147.4	139.8	-5.5	-4%	2.2	2%	-7.7	-5%	
女性医師数	15	9	0	-15	-100%	-6	-40%	-9	-100%	
人口10万対	20.0	13.4	0.0	-20.0	-100%	-6.6	-33%	-13.4	-100%	
病院勤務医師数	71	64	52	-19	-27%	-7	-10%	-12	-19%	
人口10万対	94.6	95.3	88.6	-6.0	-6%	0.7	1%	-6.7	-7%	
診療所勤務医師数	53	39	20	-33	-62%	-14	-26%	-19	-49%	
人口10万対	70.6	58.1	34.1	-36.5	-52%	-12.5	-18%	-24.0	-41%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	28	18	27	-1	-4%	-10	-36%	9	50%
	50-64歳	65	44	16	-49	-75%	-21	-32%	-28	-64%
	65歳以上	28	48	49	21	75%	20	71%	1	2%
	75歳以上(再掲)	8	13	20	12	150%	5	63%	7	54%
男性	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	26	17	25	-1	-4%	-9	-35%	8	47%
	50-64歳	54	37	15	-39	-72%	-17	-31%	-22	-59%
	65歳以上	26	42	39	13	50%	16	62%	-3	-7%
	75歳以上(再掲)	6	12	16	10	167%	6	100%	4	33%
女性	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
	50-64歳	11	8	0	-11	-100%	-3	-27%	-8	-100%
	65歳以上	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
	75歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%
病院	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	20	13	18	-2	-10%	-7	-35%	5	38%
	50-64歳	36	28	9	-27	-75%	-8	-22%	-19	-68%
	65歳以上	12	20	22	10	83%	8	67%	2	10%
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	8	1	1	-7	-88%	-7	-88%	0	0%
	50-64歳	29	17	4	-25	-86%	-12	-41%	-13	-76%
	65歳以上	16	21	15	-1	-6%	5	31%	-6	-29%
	75歳以上(再掲)	6	5	6	0	0%	-1	-17%	1	20%
	85歳以上(再掲)	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 西都児湯医療圏

### <医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は13,294人(-12%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は18人(16%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は129人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は31%増え、その伸び率は全国平均(31%)と同程度である。

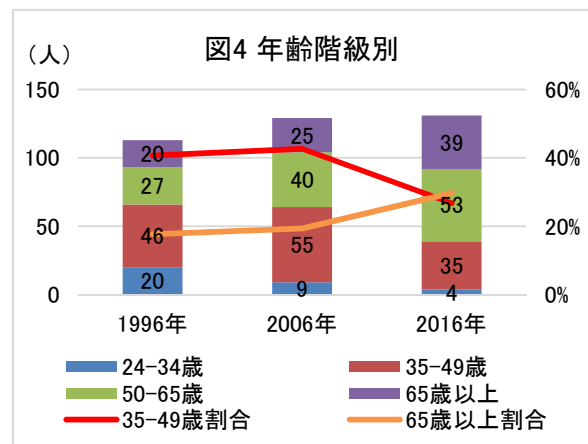
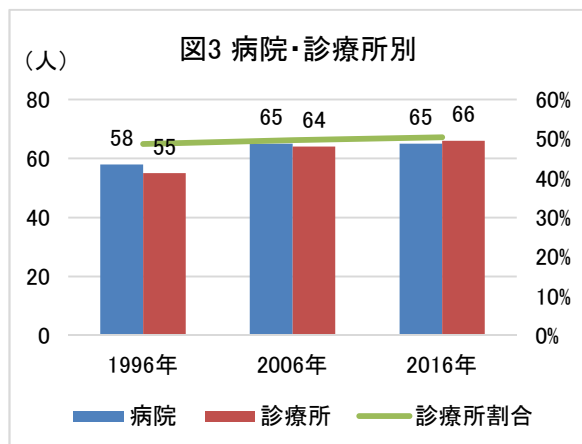
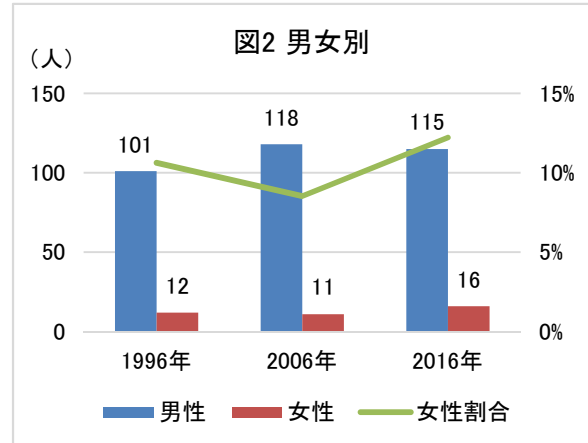
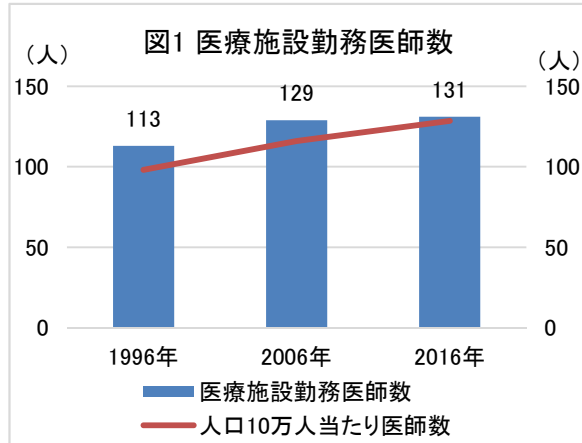
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて14人(14%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(33%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて7人(12%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に11人(20%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は50%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は11人(-24%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて19人(95%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年18%、2016年30%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいる。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 西都児湯医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	115,195	111,189	101,901	-13,294	-12%	-4,006	-3%	-9,288	-8%	
総医師数	126	133	136	10	8%	7	6%	3	2%	
人口10万対	109.4	119.6	133.5	24.1	22%	10.2	9%	13.8	12%	
医療施設勤務医師数	113	129	131	18	16%	16	14%	2	2%	
人口10万対	98.1	116.0	128.6	30.5	31%	17.9	18%	12.5	11%	
男性医師数	101	118	115	14	14%	17	17%	-3	-3%	
人口10万対	87.7	106.1	112.9	25.2	29%	18.4	21%	6.7	6%	
女性医師数	12	11	16	4	33%	-1	-8%	5	45%	
人口10万対	10.4	9.9	15.7	5.3	51%	-0.5	-5%	5.8	59%	
病院勤務医師数	58	65	65	7	12%	7	12%	0	0%	
人口10万対	50.3	58.5	63.8	13.4	27%	8.1	16%	5.3	9%	
診療所勤務医師数	55	64	66	11	20%	9	16%	2	3%	
人口10万対	47.7	57.6	64.8	17.0	36%	9.8	21%	7.2	13%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.8	53.2	57.8	9.0	18%	4.4	9%	4.6	9%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	20	9	4	-16	-80%	-11	-55%	-5	-56%
	35-49歳	46	55	35	-11	-24%	9	20%	-20	-36%
	50-64歳	27	40	53	26	96%	13	48%	13	33%
	65歳以上	20	25	39	19	95%	5	25%	14	56%
	75歳以上(再掲)	6	12	12	6	100%	6	100%	0	0%
男性	24-34歳	14	7	2	-12	-86%	-7	-50%	-5	-71%
	35-49歳	43	49	26	-17	-40%	6	14%	-23	-47%
	50-64歳	24	38	51	27	113%	14	58%	13	34%
	65歳以上	20	24	36	16	80%	4	20%	12	50%
	75歳以上(再掲)	6	12	11	5	83%	6	100%	-1	-8%
女性	24-34歳	6	2	2	-4	-67%	-4	-67%	0	0%
	35-49歳	3	6	9	6	200%	3	100%	3	50%
	50-64歳	3	2	2	-1	-33%	-1	-33%	0	0%
	65歳以上	0	1	3	3		1		2	200%
	75歳以上(再掲)	0	0	1	1		0		1	
病院	24-34歳	20	7	2	-18	-90%	-13	-65%	-5	-71%
	35-49歳	26	36	23	-3	-12%	10	38%	-13	-36%
	50-64歳	9	13	22	13	144%	4	44%	9	69%
	65歳以上	3	9	18	15	500%	6	200%	9	100%
	75歳以上(再掲)	0	3	8	8		3		5	167%
診療所	24-34歳	0	2	2	2		2		0	0%
	35-49歳	20	19	12	-8	-40%	-1	-5%	-7	-37%
	50-64歳	18	27	31	13	72%	9	50%	4	15%
	65歳以上	17	16	21	4	24%	-1	-6%	5	31%
	75歳以上(再掲)	6	9	4	-2	-33%	3	50%	-5	-56%
	85歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%



## 西都児湯医療圏

## ＜医師数の推移＞

西都児湯医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、外科(総数)、小児外科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、放射線科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	113	98.1	40	129	116.0	39	131	128.6	38	18	16%	30.5	31%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	56	48.6	42	50	45.0	38	54	53.0	38	-2	-4%	4.4	9%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	9	7.8	43	13	11.7	50	12	11.8	47	3	33%	4.0	51%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	3	2.6	36	10	9.0	48	10	9.8	45	7	233%	7.2	277%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	15	13.0	42	16	14.4	45	13	12.8	42	-2	-13%	-0.3	-2%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	1	0.9	43	2	2.0	47	2	2	2.0	
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	1	0.9	36	4	3.6	44	4	3.9	43	3	300%	3.1	352%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	14	12.2	48	14	12.6	45	15	14.7	46	1	7%	2.6	21%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	2	2.0	50	2	2	2.0	
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	2	1.7	39	3	2.7	39	3	2.9	38	1	50%	1.2	70%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	2	1.7	35	5	4.5	37	4	3.9	34	2	100%	2.2	126%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	1	0.9	32	2	1.8	34	1	1.0	30	0	0%	0.1	13%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	1.7	40	2	1.8	37	3	2.9	40	1	50%	1.2	70%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	4	3.5	35	3	2.7	33	1	1.0	30	-3	-75%	-2.5	-72%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	2	1.7	45	5	4.5	52	3	2.9	44	1	50%	1.2	70%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	0	0.0	36	1	1.0	36	1	1	1.0	
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	1	1.0	37	1	1	1.0	
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.7	44	1	0.9	42	2	2.0	41	0	0%	0.2	13%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 西都児湯医療圏

### <医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は18,396人(-18%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は26人(-20%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は126人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は-2%減り、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

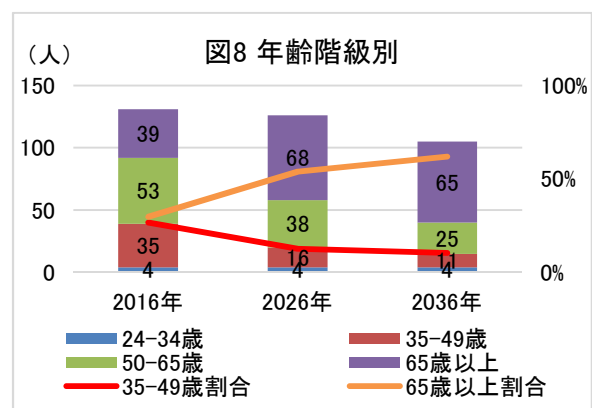
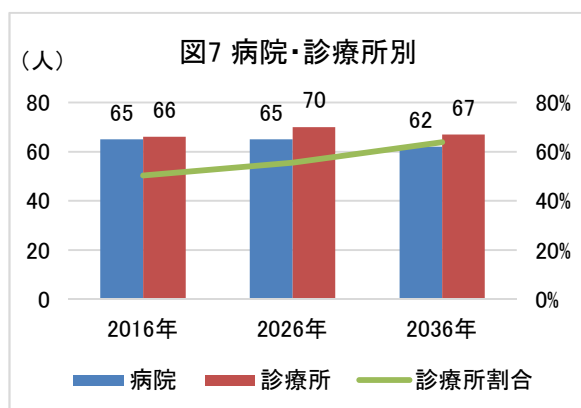
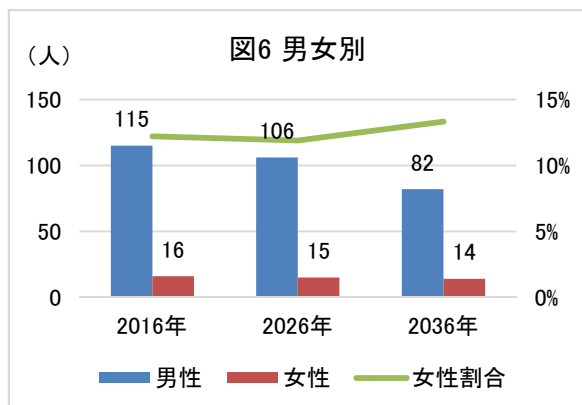
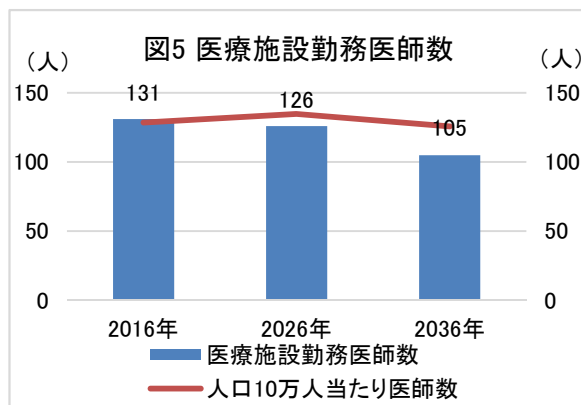
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて33人(-29%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に2人(-13%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は13%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて3人(-5%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に1人(2%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は64%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は24人(-69%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて26人(67%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年30%、2036年62%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



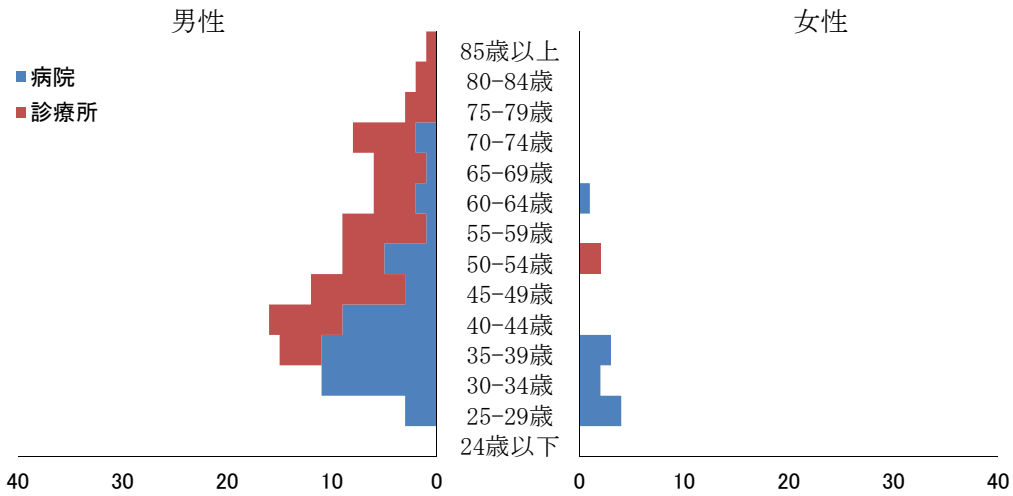
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 西都児湯医療圏

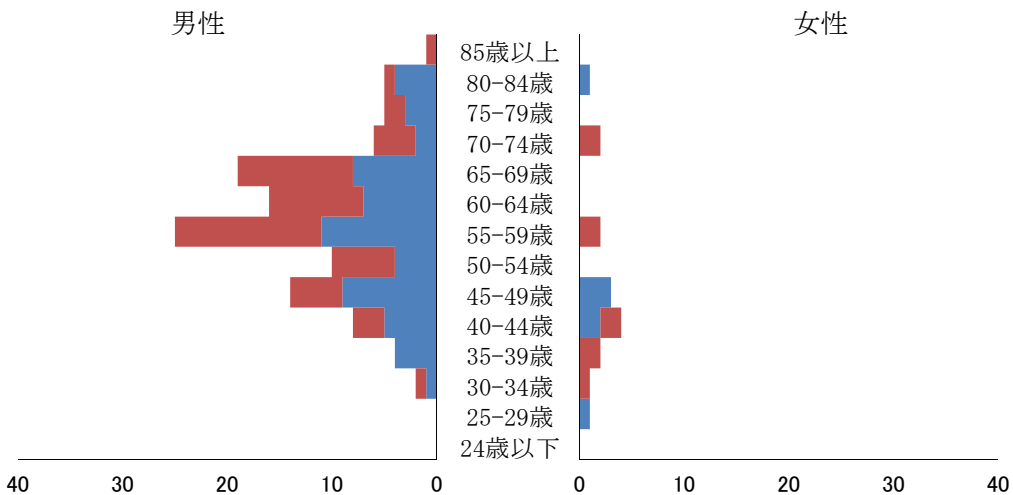
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

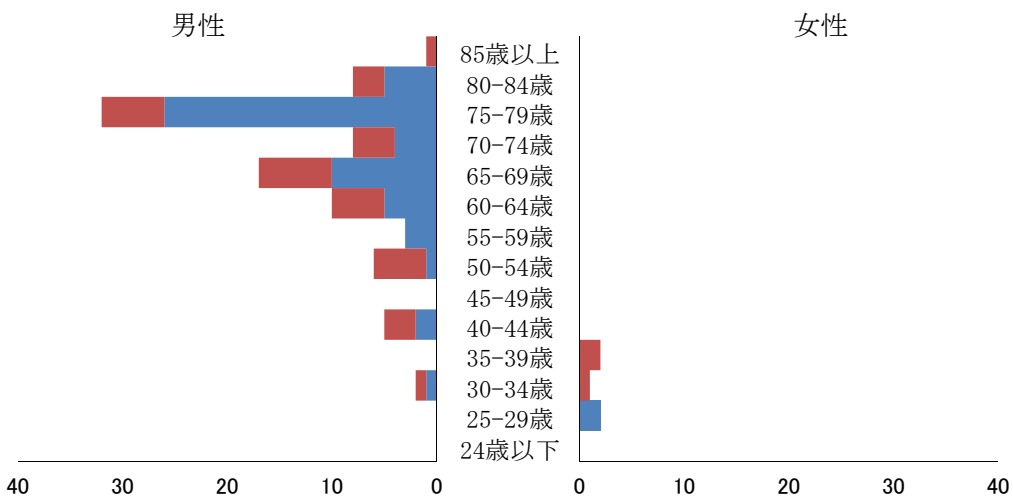
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 西都児湯医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	101,901	93,518	83,505	-18,396	-18%	-8,383	-8%	-10,013	-11%	
医療施設勤務医師数	131	126	105	-26	-20%	-5	-4%	-21	-17%	
人口10万対	128.6	134.7	125.7	-2.8	-2%	6.2	5%	-9.0	-7%	
男性医師数	115	106	82	-33	-29%	-9	-8%	-24	-23%	
人口10万対	112.9	113.3	98.2	-14.7	-13%	0.5	0%	-15.1	-13%	
女性医師数	16	15	14	-2	-13%	-1	-6%	-1	-7%	
人口10万対	15.7	16.0	16.8	1.1	7%	0.3	2%	0.7	5%	
病院勤務医師数	65	65	62	-3	-5%	0	0%	-3	-5%	
人口10万対	63.8	69.5	74.2	10.5	16%	5.7	9%	4.7	7%	
診療所勤務医師数	66	70	67	1	2%	4	6%	-3	-4%	
人口10万対	64.8	74.9	80.2	15.5	24%	10.1	16%	5.4	7%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	4	4	4	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	35	16	11	-24	-69%	-19	-54%	-5	-31%
	50-64歳	53	38	25	-28	-53%	-15	-28%	-13	-34%
	65歳以上	39	68	65	26	67%	29	74%	-3	-4%
	75歳以上(再掲)	12	23	37	25	208%	11	92%	14	61%
男性	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	26	9	4	-22	-85%	-17	-65%	-5	-56%
	50-64歳	51	32	18	-33	-65%	-19	-37%	-14	-44%
	65歳以上	36	63	58	22	61%	27	75%	-5	-8%
	75歳以上(再掲)	11	21	35	24	218%	10	91%	14	67%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	9	8	8	-1	-11%	-1	-11%	0	0%
	50-64歳	2	3	2	0	0%	1	50%	-1	-33%
	65歳以上	3	2	0	-3	-100%	-1	-33%	-2	-100%
	75歳以上(再掲)	1	2	0	-1	-100%	1	100%	-2	-100%
病院	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	23	7	4	-19	-83%	-16	-70%	-3	-43%
	50-64歳	22	19	10	-12	-55%	-3	-14%	-9	-47%
	65歳以上	18	37	46	28	156%	19	106%	9	24%
	75歳以上(再掲)	8	15	30	22	275%	7	88%	15	100%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	12	15	15	3	25%	3	25%	0	0%
	50-64歳	31	21	27	-4	-13%	-10	-32%	6	29%
	65歳以上	21	32	23	2	10%	11	52%	-9	-28%
	75歳以上(再掲)	4	7	11	7	175%	3	75%	4	57%
	85歳以上(再掲)	1	0	1	0	0%	-1	-100%	1	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 日向入郷医療圏

## ＜医師数の推移＞

1996年から2016年にかけて、総人口は8,623人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は17人(13%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は161人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

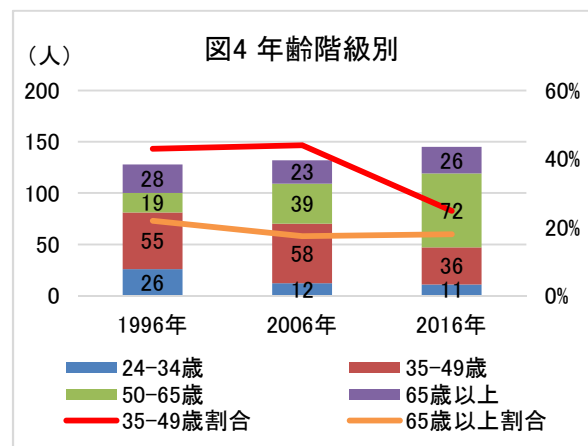
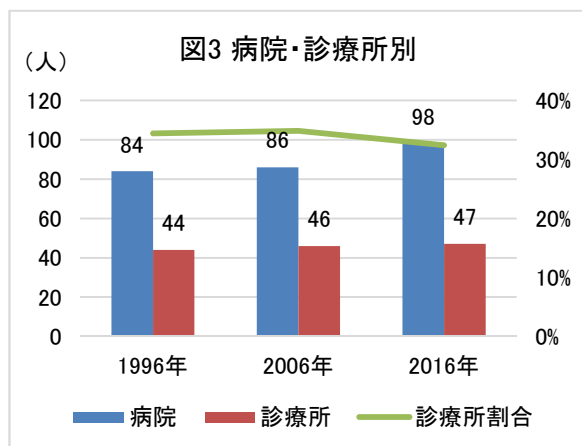
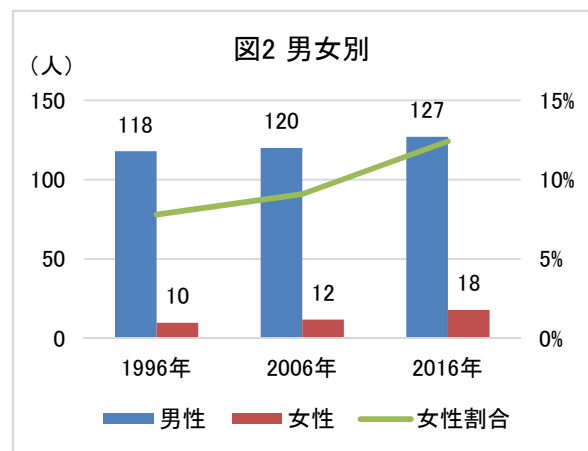
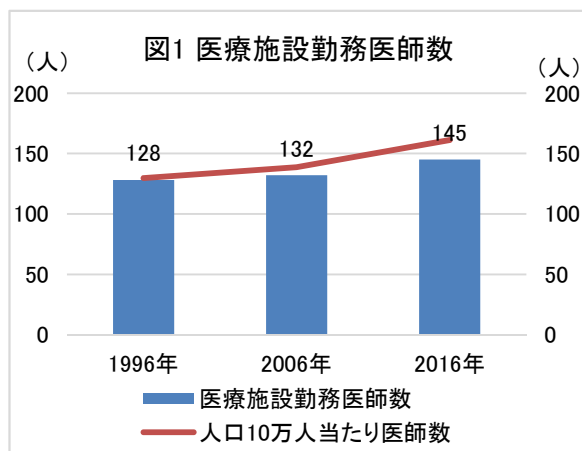
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて9人(8%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(80%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は12%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて14人(17%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に3人(7%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は32%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は19人(-35%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて2人(-7%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年22%、2016年18%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

## 日向入郷医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	98,594	95,233	89,971	-8,623	-9%	-3,361	-3%	-5,262	-6%	
総医師数	133	138	150	17	13%	5	4%	12	9%	
人口10万対	134.9	144.9	166.7	31.8	24%	10.0	7%	21.8	15%	
医療施設勤務医師数	128	132	145	17	13%	4	3%	13	10%	
人口10万対	129.8	138.6	161.2	31.3	24%	8.8	7%	22.6	16%	
男性医師数	118	120	127	9	8%	2	2%	7	6%	
人口10万対	119.7	126.0	141.2	21.5	18%	6.3	5%	15.1	12%	
女性医師数	10	12	18	8	80%	2	20%	6	50%	
人口10万対	10.1	12.6	20.0	9.9	97%	2.5	24%	7.4	59%	
病院勤務医師数	84	86	98	14	17%	2	2%	12	14%	
人口10万対	85.2	90.3	108.9	23.7	28%	5.1	6%	18.6	21%	
診療所勤務医師数	44	46	47	3	7%	2	5%	1	2%	
人口10万対	44.6	48.3	52.2	7.6	17%	3.7	8%	3.9	8%	
医療施設勤務医 平均年齢	48.6	51.8	55.6	7.0	14%	3.2	7%	3.8	7%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	26	12	11	-15	-58%	-14	-54%	-1	-8%
	35-49歳	55	58	36	-19	-35%	3	5%	-22	-38%
	50-64歳	19	39	72	53	279%	20	105%	33	85%
	65歳以上	28	23	26	-2	-7%	-5	-18%	3	13%
	75歳以上(再掲)	10	14	15	5	50%	4	40%	1	7%
男性	24-34歳	22	10	7	-15	-68%	-12	-55%	-3	-30%
	35-49歳	52	49	28	-24	-46%	-3	-6%	-21	-43%
	50-64歳	19	38	66	47	247%	19	100%	28	74%
	65歳以上	25	23	26	1	4%	-2	-8%	3	13%
	75歳以上(再掲)	8	14	15	7	88%	6	75%	1	7%
女性	24-34歳	4	2	4	0	0%	-2	-50%	2	100%
	35-49歳	3	9	8	5	167%	6	200%	-1	-11%
	50-64歳	0	1	6	6		1		5	500%
	65歳以上	3	0	0	-3	-100%	-3	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	2	0	0	-2	-100%	-2	-100%	0	
病院	24-34歳	25	11	8	-17	-68%	-14	-56%	-3	-27%
	35-49歳	39	40	27	-12	-31%	1	3%	-13	-33%
	50-64歳	5	23	49	44	880%	18	360%	26	113%
	65歳以上	15	12	14	-1	-7%	-3	-20%	2	17%
	75歳以上(再掲)	9	9	8	-1	-11%	0	0%	-1	-11%
診療所	24-34歳	1	1	3	2	200%	0	0%	2	200%
	35-49歳	16	18	9	-7	-44%	2	13%	-9	-50%
	50-64歳	14	16	23	9	64%	2	14%	7	44%
	65歳以上	13	11	12	-1	-8%	-2	-15%	1	9%
	75歳以上(再掲)	1	5	7	6	600%	4	400%	2	40%
	85歳以上(再掲)	0	1	2	2		1		1	100%

## 日向入郷医療圏

## ＜医師数の推移＞

日向入郷医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、精神科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、小児外科、心臓血管外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、耳鼻咽喉科、産婦人科(総数)、放射線科である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、眼科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	128	129.8	43	132	138.6	42	145	161.2	41	17	13%	31.3	24%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	47	47.7	42	45	47.3	39	51	56.7	40	4	9%	9.0	19%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	5	5.1	37	4	4.2	34	5	5.6	36	0	0%	0.5	10%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	8	8.1	50	20	21.0	75	21	23.3	70	13	163%	15.2	188%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	20	20.3	49	17	17.9	50	15	16.7	47	-5	-25%	-3.6	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	4.1	48	2	2.1	38	5	5.6	49	1	25%	1.5	37%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	11	11.2	46	16	16.8	54	15	16.7	50	4	36%	5.5	49%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	3	3.0	43	2	2.1	37	4	4.4	43	1	33%	1.4	46%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	4.1	40	6	6.3	42	7	7.8	44	3	75%	3.7	92%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	4.1	42	2	2.1	35	1	1.1	30	-3	-75%	-2.9	-73%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	2.0	41	3	3.2	43	5	5.6	50	3	150%	3.5	174%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	9	9.1	48	7	7.4	45	6	6.7	42	-3	-33%	-2.5	-27%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0%	0.0	0%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	4	4.1	52	4	4.2	51	3	3.3	45	-1	-25%	-0.7	-18%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	2	2.0	44	2	2.1	42	4	4.4	44	2	100%	2.4	119%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0%	0.0	0%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				1	1.1	38	0	0.0	36	0	-100%	-1.1	-100%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	5	5.1	51	1	1.1	42	3	3.3	43	-2	-40%	-1.7	-34%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

## 日向入郷医療圏

## ＜医師将来推計＞

2016年から2036年にかけて、総人口は14,223人(-16%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は増減なしと推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は191人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は19%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

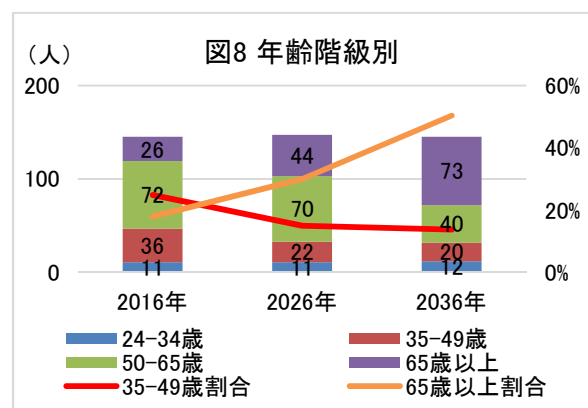
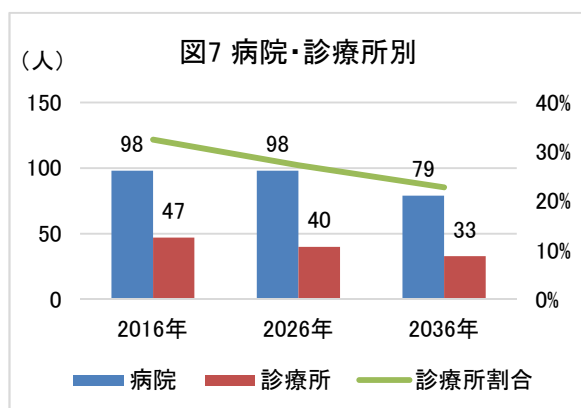
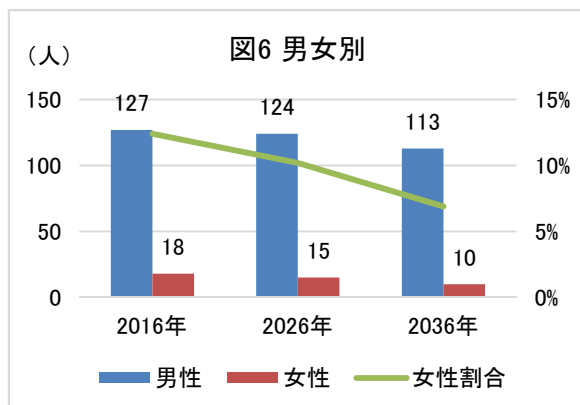
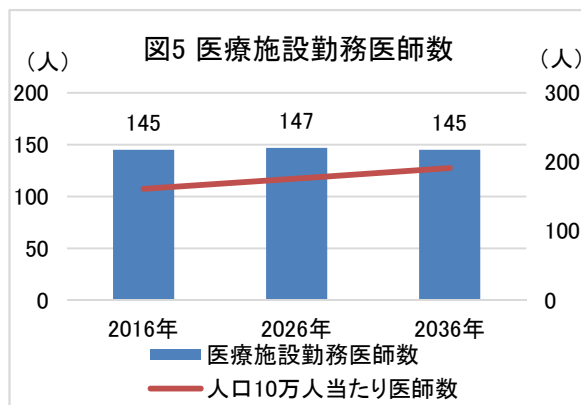
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて14人(-11%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(-44%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は7%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて19人(-19%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に14人(-30%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は23%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は16人(-44%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて47人(181%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年18%、2036年50%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

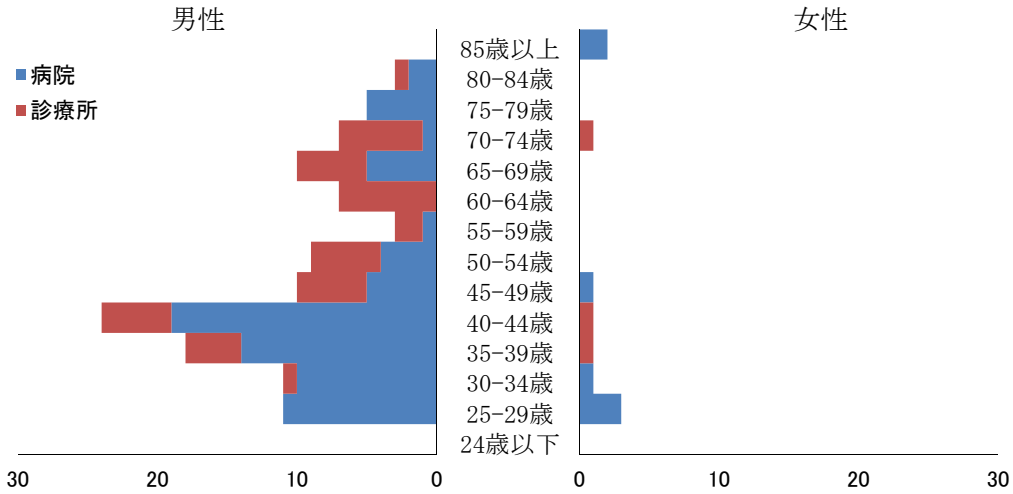


## 日向入郷医療圏

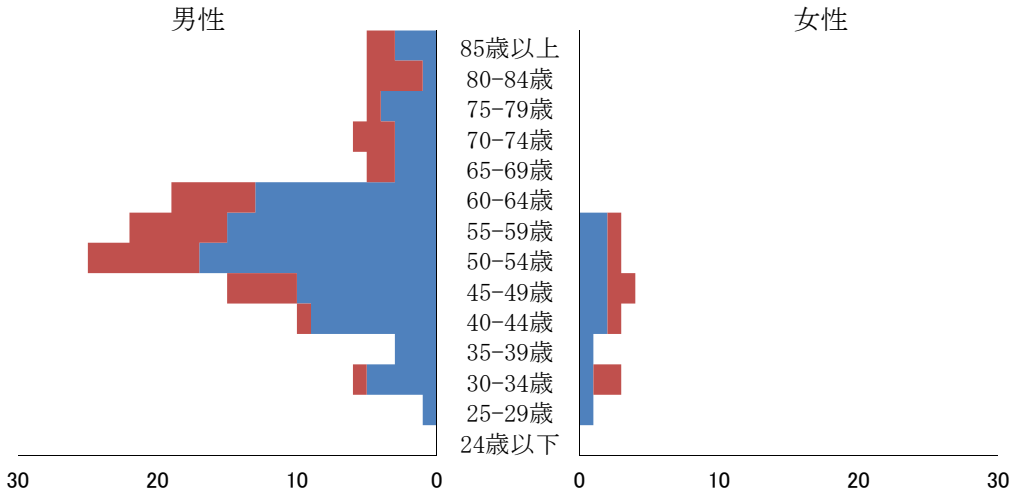
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

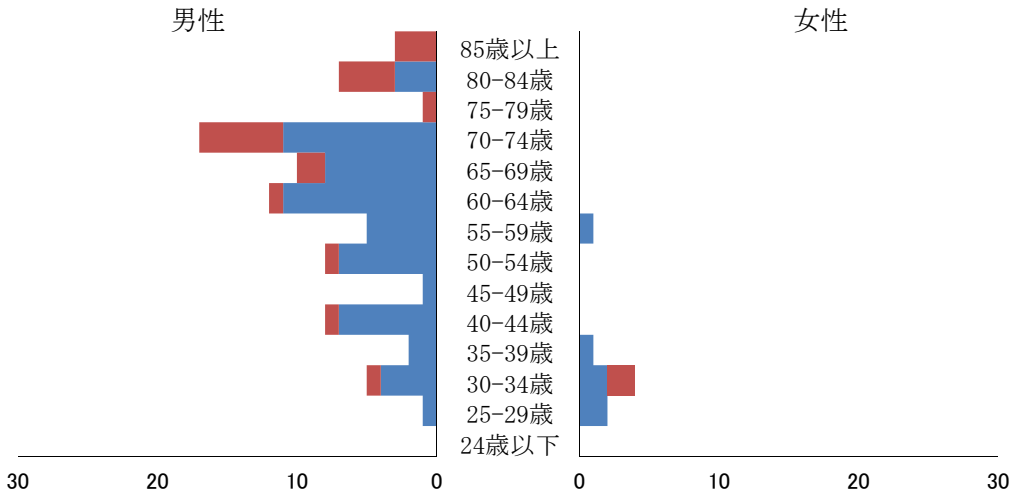
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

## 日向入郷医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	89,971	83,559	75,748	-14,223	-16%	-6,412	-7%	-7,811	-9%	
医療施設勤務医師数	145	147	145	0	0%	2	1%	-2	-1%	
人口10万対	161.2	175.9	191.4	30.3	19%	14.8	9%	15.5	9%	
男性医師数	127	124	113	-14	-11%	-3	-2%	-11	-9%	
人口10万対	141.2	148.4	149.2	8.0	6%	7.2	5%	0.8	1%	
女性医師数	18	15	10	-8	-44%	-3	-17%	-5	-33%	
人口10万対	20.0	18.0	13.2	-6.8	-34%	-2.1	-10%	-4.7	-26%	
病院勤務医師数	98	98	79	-19	-19%	0	0%	-19	-19%	
人口10万対	108.9	117.3	104.3	-4.6	-4%	8.4	8%	-13.0	-11%	
診療所勤務医師数	47	40	33	-14	-30%	-7	-15%	-7	-18%	
人口10万対	52.2	47.9	43.6	-8.7	-17%	-4.4	-8%	-4.3	-9%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	11	11	12	1	9%	0	0%	1	9%
	35-49歳	36	22	20	-16	-44%	-14	-39%	-2	-9%
	50-64歳	72	70	40	-32	-44%	-2	-3%	-30	-43%
	65歳以上	26	44	73	47	181%	18	69%	29	66%
	75歳以上(再掲)	15	22	44	29	193%	7	47%	22	100%
男性	24-34歳	7	7	6	-1	-14%	0	0%	-1	-14%
	35-49歳	28	14	12	-16	-57%	-14	-50%	-2	-14%
	50-64歳	66	60	28	-38	-58%	-6	-9%	-32	-53%
	65歳以上	26	43	67	41	158%	17	65%	24	56%
	75歳以上(再掲)	15	22	41	26	173%	7	47%	19	86%
女性	24-34歳	4	4	7	3	75%	0	0%	3	75%
	35-49歳	8	2	2	-6	-75%	-6	-75%	0	0%
	50-64歳	6	9	1	-5	-83%	3	50%	-8	-89%
	65歳以上	0	0	0	0		0		0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	27	14	14	-13	-48%	-13	-48%	0	0%
	50-64歳	49	55	32	-17	-35%	6	12%	-23	-42%
	65歳以上	14	21	25	11	79%	7	50%	4	19%
	75歳以上(再掲)	8	4	3	-5	-63%	-4	-50%	-1	-25%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	9	6	6	-3	-33%	-3	-33%	0	0%
	50-64歳	23	17	8	-15	-65%	-6	-26%	-9	-53%
	65歳以上	12	14	16	4	33%	2	17%	2	14%
	75歳以上(再掲)	7	7	9	2	29%	0	0%	2	29%
	85歳以上(再掲)	2	3	3	1	50%	1	50%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)